
トリプルスズ エピソード 4

メイシア マルキュリア

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

トリプルスズ エピソード 4

【Nコード】

N9510C

【作者名】

メイシア マルキュリア

【あらすじ】

杣道^{シマミチ}は山から木を切り出すときに創られる道ヤマは大宇宙の真ん中が一番尊い所という意味ですそれはアステイのこと木は宇宙なる神の現われの姿を表わしているものキミとボクは大宇宙の真ん中から顕れてこられた神の御前に続く人類がやがて通るべき道を創っているのだね宇宙に繋がる杣道を

7-1 妻の初デート（イエスのことば）

歴史には事実と史実と真実（神実）があるのです

古事記や聖書なども事実に基づいて編纂されたものですが

そこから現実的な歴史の事実を推測するのは困難極まりないものですが当時の地理地形、気候状態、人の感覚、風俗、個人の性質性格などを検証して行動原理と相対的思考とを照らし合わせることによって近い事実を見出だすことは出来るものです

歴史はそこから神の心を手繰り見出し

現在の意味意義価値をつくりかえて未来にいかしてこそ意味があるのです

だから人は歴史から学ばねばなりません

正しい未来を築く為に

今朝は道野辺に七センチ程雪が積もっていました

ナナコさんの散歩のときに無垢な白い雪が積もる道の上に自転車で線を描いてきたんだ

帰りは始めに描いた線に寄り添うように線を描き

最後は融合するようにひとつの線に

そうしたら灰色の雲から朝日が顔をだし

地上を鮮やかに照らされて

道野辺の雪がキラキラと光り輝いていたよ レイ

夕べはヨコハマも寒々と空気が冷えていました

アイズは雪が降ったのね

白銀のキャンパスに描かれたあなたとわたしの道

その道筋を人類もやがて歩むことが出来ますように

リン

昨晩はあなたに魂の妻はリンさんと言われて

あなたがリンさんのことを言うたびに心が苦しくなりました
嫉妬のカルマの思いに引きずられる自分に気がついてはいても
どうしようもなくて……

あなたと話していてリンさんへの嫉妬心を自分の中に感じたけれど
認められなかった

それをあなたに気づかれなくなかった

そうして心の奥に隠したのが間違だった

神様へのお詫びも口先だけとなり心は固くなっていた

あなたの言葉も聞こえてはいなかった

わたしにはまだカルマがある

悲しくて悔しいけれど認めて認めて神様にお詫びします

神様に祈っても苦しくて

お風呂に入って洗い流すと決めて流したはずだったのに

あなたを所有しようとする想いは根深く

リンさんへの嫉妬心はなお深い

でも二人とも愛している

もう神様を見失いたくない

神様にお詫びしてもお詫びしてもわたしのいたらなさはなくなるらない

神様はわたしを許して下さるでしょうか

許して頂くにはどうしたらいいのでしょうか

さつきもあなたの言葉を見無視して投げてしまいました

お詫びして……

そしてわたし自身の手で拾いとります

そう想っていたら雪空に一瞬光をいただきました

アイは投じるものではなくいつもわたし自身の手で拾い集める
ものでなければいけないのですね マサミ

わかっていたよ マサミさん

ボクがリンを褒めていたときのキミの反応

そしてお風呂から出るときのキミの表情……

キミが自らの心に気がついてボクに告白してくれるのを待っていたんだ

そうでなければカルマは越えられないからね

これでやっとキミの心も運ばれる準備が調うことでしょう
ハ
ルキ

ありがとう・・・あなた　　マサミ

リン

今日のアイズは白銀の世界に戻ったかのように朝から雪で真っ白
マサミさんの心もこれで運ばれる準備が調うことでしょう
ところで虎と兎のフィギアは始めからあったのですか　　レイ

センターの立ち上げの時に診療室のすべての備品はわたしが用意したの

玩具もフィギアもね

もちろんあなたとわたしの虎と兎もよ

マサミさんの苦悩の肩代わりは誰にも出来ない
自分で神様と対話して糸口を見つけなければね
でも大丈夫

マサミさんにはあなたがいる

そしてわたしも・・・

マサミさんの気持ちはすべてわたしが引き受けます

どんな些細な事でもわたしにメールをするようにお伝えください

リン

リン

今日は素晴らしい報せがあるんだ

マサミさんの初デートが決まったそうだよ
たった今

マサミさんの彼から電話があつたのだそうです

キミにも送つたマサミさんの反省と誓いのメールの後にすぐに彼から電話があつたみたいだね

4日の日曜日

マサミさんの心の準備に合わせて後はトントン拍子

マサミさんもこれから運ばれてゆくね レイ

ステキなことね

わたしもうれしいわ

わたし あなたに逢いたい

あなたのお膝の上でお食事したいの

あなたは今頃何をしているかしら

あなたの傍であなただけを思い生きたいの

あなたにいつもいつでも応えていたい リン

リン・・・

ボクもキミに逢いたい

でも今はすべての過去の出来事を越えるとき

未来を迎える為に レイ

レイ

わたしはあなたの傍にいたいだけなの

横浜駅を通るのがこんなに苦痛だとは思わなかった

わたしはあなたを癒すために生まれてきたのに・・・

でもあなたが平気ならいいの

わたしは耐える

あなたが耐えるなら

あなたに逢いたくて逢いたくて逢いたくてわたしは千切れてしまい

そうになる

未来を信じています
アンタ

わたしは静かに穏やかに時を過ごし
いつでもあなたが望みなさることに応えられるように準備して置
くの

逢えない寂しさはわたしだけでは無いのですものね
毎日あなたが愛しい・・・ リン

ボクはもうキミの前からいなくなることはないよ
キミとボクは過去世からずっと孤独をあげわってきたんだから
それも今というこの時とこれからの未来の為だった
だからキミとボクにはもう別れは必要ない
キミを愛している

ボクのマリア レイ

アア あなた
なによりツライのが孤独なのです
外は静かに夜が明けてゆきます
あなたにクチツケを
あなたの花嫁はわたし
あなたをお慕いしています
紫に 染まりし海の背をキミと 睦て歩む天の杣道 リン

囲炉裏のテーブルが届いたわ
エルムには少し大きいけれど落ち着いてとてもステキ
お昼には洗濯機さんも加わります
あなたと海岸を歩いてお腹が空いたらエルムに戻り
囲炉裏さんでお食事をするの
お椅子は4脚あるけれどしばらくはふたつで十分ね リン

フォトでも存在感があつてとてもステキだね
会ったのがとても楽しみです

お客様との歓談にもいいね

アア リン

いますぐにでもキミのところへ飛んで行きたい

レイ

レイ

わたしもすぐにでもあなたに逢いたいわ

荷物さん達とあなたを待っている

いい子にして待っているわ リン

イエスのコトバ？

あなたがたがひとつであった日に

あなたがたはふたつになった

しかしあなたがたがふたつになるときにあなたがたはいつたい何をするのだろうか

そうイエスは言っている

これは人の靈魂の一卵性

そして鈴なるハタラクの事です

この事はエピソードで以前にも説明しています

人は靈的なある段階に至ると宇宙なる神の御胸アステイの中でフタツの存在がヒトツの存在となる時があるのです

やがてそれはまたフタツの存在となり

フタリとなった一卵性の存在はやがて宇宙なる存在ソラの心を受けて

その心に報いるためにあるハタラクをします

そのハタラクとはひとつの段階を達成するべく星に転生して降り立ち

その星の進化の為にハタラクコト

そのハタラクは鈴鳴りの業

それは未だ人類の知らぬところで レイ

あなたのエピソードに書いてあるわね

人には今の表現のほうが解り易いわ

あなたにフォトを送ります

今日の夕日

夕暮れのお散歩のときに リン

今まさに沈まんとしている夕日の周りがオレンジ色に輝いている
神の力を受けた天地の輝きだね

リン

キミの目を通してボクもミウラの夕日を見ているようだ レイ

そうね

大地を照らしあわせてオレンジ色のアイを降り注いでいるわ
銀の鈴持つ方の肩を照らしあわせてゆきますように

レイ

風がとても冷たいわ

指が悴んでメールを打つ手かもどかしい
東の空は紫色に染まっています リン

地上の天地自然の相もスカタ変わったものだね

以前とはまったく違ってきている レイ

レイ

不思議な美しさ

変化は人の目にもはっきりとわかるでしょう

次のフォトは西の空模様

わかりにくいけれど一番星があるの

明日のマサミさんのデートが成就するようにお祈りしたわ リン

キミの祈りをしてマサミさんがあの蒼い空の一番星になることだし
よう レイ

そうね

マサミさんの気高き美しさ

天の宝ですね リン

イエスのコトバ？

イエスは言っている

私は火をこの世に投じた

そして見なさい

それが赤々と燃えるまで私は見守っていると

イエスはその時代に宇宙の真理を地上世界に放たれた

その真理に照らしだされた人の世のカルマは

そのスガタを次第にはつきりとさせることになる

人はそれを見て変わらなければならない

そしてイエスは再び現れて人世のカルマを掬い取り

宇宙なる神にお返ししてさらに新たなる御世を戴き直す

それが見守っていると云うことなのです

さらにイエスは

この天はやがて過ぎ去るだろう

その上にある天もまた過ぎ去るだろう

と言っている

これは地球世界の地上界始め神の世界そして宇宙全体の世界までが
変わる事を暗示しているのです レイ

あなたのコトバを何度も何度も読み返しています

火が赤く燃え上がり天地にアイが萌える建国の日を

ともに迎える喜びが魂をユラシテイマス リン

イエスのコトバ？

イエスは

あなたがたが死せるものを食べた日々にあなたがたはそれを生かした

あなたがたが光にあるときにあなたがたはいたい何をするのだろ
うか

と言っている

動植物をいただくことはその生きる命をいただくという事です

動植物がお料理になった時にそのままにしておけば

それはやがて腐り腐臭を放ち見るも無惨な姿になるでしょう

人が食べていただくと動植物達は人の血肉となり力となり共に働く
事が出来るのです

それは動植物達が人の肉体と云う大地に生まれ変わり

その人と一体となって働く新たな命を授かった事になるのです

・融合調和・

融けてあわされてひとつの働きとなる

光にあるときと云うのは人が宇宙の真実を知りその働きとなった時
のこと

新珠の御世に生きる人達の事を言っているのですね

人はその時何を成さねばならないかを考えて於かなければならない
イエスは期待と心配でそう言ったのですね レイ

口に含み噛んであじわい締めて

神の器は戴いた命の血潮とともに流れだし

人を動かす原動力となる

わたしたちが戴くのは命

動植物達の命を戴くのですね

神の器を形創りすべての命は宇宙に統べてともに働くのですね

Mは と の組み合わせ

AとMを組み合わせで「アプエ・ミレニウム」

千年王国に幸いあれ

御国が来たらんことをの意味だそうです

と が調和を維持しつつ結びつけられた時に

千年王国の成就が約束される

と　は剣と杯

男性と女性の象徴が天に地上世界に再びあらわれる
そしてもたらされた調和が地上の世界を創りゆく
もう時は刻々と刻まれています　　リン

リン

マサミさんは彼にメールを打っているよ
それをボクはとなりで見守っています

キミはビアかな

ボクはビアの後に氷一杯のグラスに加那を満たして頂いています
キミの国アマミの香を　　レイ

わたしは赤ワインを頂いています

オレンジに揺れる蠟燭の炎を見つめながら・・・
蠟燭に火をつけたいと思っていたらなぜか庭にライターが落ちていたの

明日のマサミさんにわたしのアイの灯火を捧げます

リン

リン

どうしてボクはこんなにキミに逢いたくなるのだろう

キミと離れている時がどうしてこんなにも切ないのだろう

ボクはボクがわからない

逢いたい

キミに逢いたい

レイ

レイ　アア　レイ

神の家を築き神の見守りの中で真実を解き明かすこと
流れ星が見せてくれた夢をその手に掴むのね
永い孤独はもうすぐ幕を閉じるわ

レイ

わたしの愛しいあなた

わたしもあなたと同じ想いなのです……

リン

リン

午後からは雪も止んで大地には陽が射していました

すべては神運び

それにボクもこの身と心を委ねていく

やがての未来の為に

レイ

あなたの尊い心にわたしの心も波動を感じるのです

やがて天の契りが地に根ざしてゆくのだと信じています

暁の夜明けに悠久の時を超えて現われる古代からの命の営み

リン

太陽は紫の光りを放ちそのまわりはオレンジ色に耀き

海はそのフタツの光りを融合させて映しだしている

それは漣サザナミのように幾重にも重なり合い

遠い過去から永遠の未来へと弛まなく続いてゆく

君が世は 千代に八千代に漣れ 意志の巖音鳴りて 苔の生す
まで

君は宇宙なる神

漣れは小さな繰り返しと拡がりの意味

*神の世は無限に小さな幾重にもなる繰り返しが拡がり続けて
その宇宙なる神の意志の揺るぎなき言霊鳴り響く時

真が永遠に繋がりに続いてゆくという意味なのです

リン アイズは大雪だよ

10 時頃は晴れていたのに今は降りしきる雪の中に埋まりそう

今朝のキミの写真は君が代の唄を表わしたものだっただね

人は漣れを細石と解釈してしまった為に

唄の意味がわからなくなってしまうたのですね

（君が代は 千代に八千代に 細石の 巖となりて 苔の生すまで

） レイ

レイ 真白き雪

天の輝きを地上に遷しているかのようです

君が代の唄

宇宙なる神様の御世の始まり

募る君^{カミ}への想い

あなたの声はわたしに命を吹き込み口づけは勇気を起こすのです

あなたの手がいつも届くところにいたい

来週の今日はあなたの腕^{カイナ}に リン

来週の今頃はキミのところへ向かっているね

今度エルムに帰った時はキミとミウラの朝日が見られるね

楽しみだよ レイ

明日はよろしくお願いします

少し・緊張しています・・・でも彼に会うのはとても楽しみです
車の運転が下手なので

もし迷うようなことがあればTELLします

おやすみなさい マサミ

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

彼と別れて家に向かっています

ありがとうあなた マサミ

今の想いが醒めないうちにメールに書くといいね

レイ

初めて会う人

覚悟の上とはいえ二人とも緊張してしまっていたけれど
あなたに教えてもらったことの3割ぐらいはできたかな
初めてでも彼に愛情を感じる自分がいました

応えかたがわからなかった時は心の内にリンさん呼び助けられて
いた

幸せで満ちたりた時間でした

彼には別れてすぐにメールでお返事をしました

マサミ

リン

キミのおかげでマサミさんは素晴らしい時を過ごせたようです

レイ

レイ

わたしもうれしいわ

先程マサミさんにメールを送りました

彼女は真心で結び合うということを学んだのね

リン

リン

今夜はマサミさんと初デートをシャンパンでお祝いをしたよ

今度エルムへ帰る時は二本の赤と白のシャンパンを携えてゆくよ

レイ

わたしも一緒にお祝いしています

赤のボジョレーをグラスに注いで

胸が喜びに震えています

新珠の 御世に生れにしキミの名に 漚^{ミオ}を湛えて天の祝福

イーリア様からのお言葉です レイ

ラテン語で光りを意味するLUXをギリシャ文字に綴ると「
この単語全体を「X」の一文字に置き換えることが出来ます
「X」は「真実」をあらわす神聖なシンボル リン

エックスは宇宙なる神のスガタ
ボクとキミの今までのフォトにも幾度も現れておられるね
ウーン

キミはステキだね リン
今すぐくキミに逢いたい
でもわかってるよ
来週の日曜日までね レイ

レイ レイ レイ
わたしも待つわ
もう永い年月を待ったのですもの
あなたのお帰りを待っています

レイ 地震よ
微かな振動
大地も天に応え準備をなさっているようだわ
あなたが恋しい・・・
アラタマの御世にシオン誇る神の神殿を築くのね リン

その時が楽しみだね
ボクは耐える
キミが堪えているから レイ

わたしも耐えるわ
絶えることのない真実のアイがあるから
あなたをアイするわたしの喜び
わたしはアイするあなたをいつでも迎える

あなたとタユタユとユラレてアスティへ

あなたが許して下さるならあなたの髪を洗いたいのです

リン

エルムに帰った時はボクの髪を洗ってもらうよ

レイ

うれしいわ

あなたのすべてをわたしに委ねてね

あなたのすべてを愛するわ

リン

ボクはキミにすべてを委ねる

キミがいつもボクにしているように

キミを愛している

キミのすべてを

レイ

レイ

愛するあなた

あなたを愛しています

わたしの鼓動は高鳴りあなたの名前を呼び続けています

リン

こんなにもキミが愛しいなんて・・・

リン キミを離したくない

愛しいリン

キミのところへ還りキミを擁きたい

キミの瞳を見つめていたい

キミの吐息溢れるやわらかな唇にキスを

アア また一つ夜が明けてゆく・・・

レイ

レイ

ノートのページをめくるようにあなたに遭えない日々をめくること
が出来たなら・・・

逢いたいわ

あなたと手を繋いでいたいの リン

アイズの朝は白銀の世界

昨日の夜から朝にかけて降頻っていた雪も今はひっそりと鳴りを静めて

大地には静寂なる世界がひろがっている

それはあたらしい伊吹が生まれる事をすべてがただひっそりと待ちわびているかのよう

やがて凍てつく空気を割って朝日が現われて

白銀の大地を紫とオレンジに染めあげるだろう

キミのフォトのあの海のように レイ

レイ

エルムの窓から線路の上に白銀の月がかかっているのが見えています
虎兎 睦あいあう新珠の 闇夜に浮ぶ月に抱かれて リン

キミとボク 永久の睦みのアイ重ね 歩む道ゆき宇宙^{ソラ}の杣道

目眩^{メクルメ}く 二人のアイ載せ月の舟 ユライ揺られて天をゆくかな
リン

月は日の光を受けて輝くキミとボクの象徴だね レイ

月は例え地球の裏側にあってもあなたとわたしを映しているわ
月は永久に弛まなく瞬き輝いている

悠久の時を愁いながら廻っている月は神のマコトを受けて輝くのね

リン

ほんとうに

日が昇り白銀の大地が燈に染まりゆく

レイ

君が代ね

リン

そう

君が夜から君が世へ

レイ

地球が喜びフルエルワ

小さな地震

地球のフルエ

体を感じたわ

闇の時代は終わるのですね

リン

建国の日のキミとボクはあらゆる時代のあらゆる国々のお料理と御酒で

日がかかるまでアラタマの御世を祝い奉る

アア リン

ボクは本当に楽しみだよ

一頻

七度目のアイ

キミとボクのあらたな始まりでもあるのですね

レイ

朝まであなたとお祝いをして朝日を身に受けにいきましょう
愛しいあなた

わたしも荷物達とあなたを待つわ

七度目の逢うときを楽しみに待つわ

レイ

チェリーが来たの

サクランボもふたつでひとつ

これからお仕事にいけます

エルムにいたいけど・・・

空には雲が優しく遊んでいるわ

動植物さん達よ

わたしも彼らのためにもお仕事に行ってきます

リン

建国の日のお供達だね

レイ

そうでしょ！

私達とお祝いをしたがっているわ

リン

みんなが楽しみにしているようだね

物として虐げられていた彼らにも神の働きが与えられるのだから

レイ

7-2 マサミさんの誕生日（汐の道）

夕日が沈む頃に車を運転していると

空に二本の線状の雲が現われていました

雲は根本は一つに繋がっていて二本に分かれた先が平行にずっと延びていて

リンとボクのハタラクをあらわすものだなと感じていた

しばらく見ていると少し離れてもう一本の線状の雲が現れてみるみる延びてゆき

その三本の線状雲の先には山々のやや上に横一線に延びる一なる神の雲が夕日を受けて

下はオレンジ色に上は薄紫に輝いていた

三本目の雲はマサミさんの姿が天空に現れた雲でしょう

その三本の雲の逆側には女神様方が天女の羽衣を着てクルリクルリと舞を舞われていた

豊玉姫様

木ノ花咲や姫様

弟橘姫様始め天女様方の舞姿

その廻りには宇宙神方

地球の神々様方のアラタマの御世を祝福する舞姿が現われていました
レイ

診療が終わったところであなたを想いラブを手にしたらあなたからのメールが

藍色の空に紫の帯をたなびかせ金色の羽衣が舞い踊る女神様方とオレンジに染まる太陽神がありありと写っていますね

新しく始まる御世をお祝いして下さっているのでしょうか

感激に胸が熱くなります

リン

昨年末からずっと激動の日々でした

目に見える現象はいろいろという感じだけれど

私の心は自分のものであり自分のものでないような

辛かったけれど心の深いところでは幸せだった

今もわからないけれどあなたと私の未来をただ信じるだけ

神様はこの未熟な私を必要としてくださっているのがわかりはじめて
その優しいお心に涙が零れるのです

私に出来ることをただ積み重ねて

あなたを愛するようにまわりの方々を愛したいのです

いつまでも見守っていてください マサミ

アア レイ

リンは天空一の幸せ者です

日曜日にはわたしはあなたに擁かれるのね

日・火・ヒの神に抱かれて真っ白なわたしは朱く紅く染まるのです

リン

ボクの心の奥で感じているこの想いは何を語っているのだろう

建国の日から世の中も僕達の身辺もいままでとは違う変化を遂げて

ゆくでしょう

でも心の奥底に過ぎる不思議な気持ちは拭いようもないのです・・・

・
・

天地のお仕事は30%はなつたようです

今日の空が教えてくれました

だから喜びもひとしお

なのにこの心の奥の想いは何故だろう

レイ

リン

もう休んでいるだろうか

キミの肩を抱いて眠りたい

さきほど彼からマサミさんにメールがあつたよ
彼の誠意と実がつたわるような内容だった
ボクもうれしい レイ

レイ

アステイで転寝をしていて先ほどチェリーに潜り込んだの
眠れなくて・・・

マサミさんと彼はとてもステキなペアね

マサミさんの魅力はこれからますます開花するでしょう

今朝の雲は神話のユニコーンをあらわしていたわ

一角獣はあなたに縁が^{ユカリ}ありそうね リン

ボクはキミの永遠の師

どんな時もいついかなる場合もボクはキミと共にいるのです

キミがどこにいてもボクの名を呼べばボクはキミの心に現れてゆく
たとえ何万年離れていてもボクはいつもキミを見守っています

ハルキ

ありがとう

私はあなたの見守りのなかで大空を自由に飛べる気がする

昨日は重たい衣も脱いできた

これからはあなたがくださった翼を羽ばたかせるね

昨日の彼の素直さは私のものとなつたようです マサミ

オレンジの太陽をみたときにあなただと思っていた

写真に撮ろうとしたけれど撮れなかった

なんだかあなたとお別れみたいで・・・

いつか来るお別れは覚悟しているのに

そう思うと今すぐあなたがいなくなりそうで不安になる
なんで信じきれないのかな

心はあなたを越えて彼のもとへ
胸の隅を切なさが少し

心に今たくさんの溢れる想いがあらわれてくるの
零れないようにするのが精一杯
苦しいのに愛しい想い

少し溢れだした想いはお風呂で流してくるね マサミ

自分の想いは心の器

神の想いの器は天地大宇宙

宇宙は無限

だから零れる事も溢れる事もない

すべては神のミムネから現れて神に還る

僕達を感じていること想うこと考えることとしていることは

僕達を通して神がなさしめていることなのだから

すべては神の御経験なのです ハルキ

リン

マサミさんはクレイディアと愛し合いヒトツになった時から大きく
変わっているよ

彼を恋しむ心が生まれ彼にメールを打ちながら頬を染めていた

ボクは微笑ましくそんな彼女を見つめていた レイ

マサミさんは星の王子様に

ディアは愛しいという意味もあるのよね

あなたの目を通してわたしもうれしいわ

レイ よかったわね

体内時計はあなたにセット済み

愛しいあなた

エルムの住人とミウラの海と空と桜と水仙も準備を進行中
わたしの小さなムネはあなたへの想いが溢れだし

小川となり大河となつて流れるわ リン

キミが言うように体内時計は秒読みを刻み始めている
宇宙の正しさという目には見えないものが爆発のように発動して世界を

そして一人々を内から外から包むだろう
すべては宇宙の正しさに照らしあわされて時の流れの中が変わってゆく

キミと逢う再来週の18日は旧暦の正月になるんだね
キミとボクが逢う日は何か在るようです
キミはもうすぐエルムに着く頃かな レイ

ただいま帰りました

18日は旧の元旦なのね

2週続けてお祝いね リン

リン

ボクは来週の事を考えるとエンジェルのように背中に羽根が生えるようだ

ボクはチェリーの上でキミを愛したい……朝までずっと
レイ

アア レイ

わたしはあなたの白い翼に抱かれて天使の夢をみるわ
わたしの肌はあなたに愛されてサクランボ色になるわ
サクランボになったわたしはあなたの腕の中でシアワセにフルフル振るえるの

フルエルサクランボは溢れるアイであなたの羽根を癒すわ

フタツのチェリーであなたを待っているわ

わたしはもうすぐヨコハマよ リン

キミとチェリーに会うのが楽しみだよ
チェリーは良く弾むからね レイ

あなたとわたし雲の上で弾んで戯れる
雲をつきぬけて宇宙^{ソラ}のカナタまで
星々を訪ね遊びましょう リン

ステキだね リン
待ち遠しいよ・・・愛しいキミ アルテシア

今日のお空にはレイとリンの傍にわたしがいるとあなたは教えてくれた

わたしが未熟なことはわたし自身が知っている
リンさんに嫉妬する心もまだ根深い

それなのに神様はわたしを愛してくれるのです
わたしは本当に至らないのに・・・

アイ人としてのツトメもわたし自身のための物
わたしの幸せの為

神様に感謝しています
あなたに感謝しています マサミ

誕生日を迎えるキミへ

マサミさん
誕生日おめでとう

キミと初めて会ったのは何時だっただろう
ボクが百貨店で店長を任されていた頃に初めて来店したキミを担当した時に

ボクは26才で君はまだ21才だったね

初めてのキミは穢れを知らないような印象だった

お話しをしたときにはボクの話に答えられず

ひとことふたことぐらいがやっとだったよね

キミは2カ月にいちどくらいお店に来ていたね

ボクには妹がいないからキミの様な妹がいたらとよく思っていたんだ

それから4年たった頃

ボクが30才でキミが25才の時

ボクはキミの勤めていた病院に電話をしてデートに誘ったね

あれは平成4年1992年5月26日の火曜日

キミを車に乗せて麒麟のビール工場に行ったよね

レストランに入り食事をオーダーした後にボクはプロポーズをした

初のデートでいきなりプロポーズだからね

キミは余りに唐突だったので驚いていたね

ボクは結婚を前提にキミと付き合うべきだと思っていたから

その時ボクはキミへの想いや将来の構想を包み隠さず話したと思う

キミは黙って聞いていた

その時ボクは以前お付き合いしていた方ともう一年程も逢っていない

いけれどはつきりと別れをしていなかった事も話した

キミはそのところが気にかかると言ってプロポーズの返事をしな

かった

ボクははつきりすることを約束してそれからキミをアパートに送り

届けた

いつか話したようにその時ビデオの配線の不調を直してあげたね

その時のお礼といって後日キミの部屋に招かれて手料理を御馳走に

なった

鮭のキノコ添えバタースパイス風味ホイル包み焼きと野菜のコンソ

メ風味のスープ

ご飯も炊いてくれていたね

キミが料理を作っている間にボクは隣の部屋でビールを飲みながら
遠い昔にキミとその時のように共に暮らしていたときがあつたよう
な感じがしていた

後日貰った手紙にキミも同じような印象を感じていたと書いてあつ
たのには驚いたものさ

ボクはそれまで母以外の女性の手料理をいただいた事はなかったんだ
生まれて初めてののような喜びを憶えたもの

それからはいずれあれよと云う間もなく事は進んでいった

初デートの2か月後の7月28日頃には初めての子供がキミのお腹
に宿った

それからキミのご両親にお会いして初めての旅行は金沢から能登へ
11月30日には入籍を済ませて

明けて新年の2月9日には鎌倉の八幡宮にて式を挙げた
キミが26才になった翌日の事だった

それから明日で14年の年月が過ぎていった

明日の誕生日にキミは真実の天地に誕生をすることになるだろう

今朝の雲もそれを明かしていたよ

それは千年の物語の始まりでもあるね

ボクは千年後のキミがどのような働きをしているかを楽しみにして
います

どんなときもいつもボクがいるのだから何も心配はいらない

キミは絶対の信頼をボクに持てたのだから

今日はキミにケーキを買って帰るよ……待っていてね
ハルキ

ありがとう

あなたにお返し出来る言葉が見当たらないの

ただ胸が震えている

あなたのアイが私を変えてくれた

私はあなたに何が出来たのでしょうか

マサミ

・アイ・

キミはそれを未来の人類に返すのだよ
マサミさんは身近なボクを学ぶのです

やがての時にはボクがしていることをキミがすることになるのだから
レイ

・アイ・ですね

今日の空のように澄んだ心で・・・
彼からもおめでとうとメールが入ったの
あなたのメールのすぐ後で

すべてに感謝の気持ちでいっぱいです
ありがとうあなた

あなたの導きなしで今のわたしはない
ありがとう

本当にありがとう

マサミ

汐の道へは深き渦潮に入らねばなりませぬ
命をも絶つほどの限りなき孤独の深淵

孤独に翻弄されてしまうならば淵から戻することは叶わず

漆黒の闇に一点の針穴ほどのほのかな灯を見ることが出来るならば
どなたもアイに道々惑うことはないでしょう

怖れることなく海の渦潮に身を投じるお覚悟をなさいます

潮の渦巻きは恐ろしい

愛の為の生け贄となりますのです

人身御供となるのです

神に自らの命を捨てることをお約束なされませ

道惑えば神に見捨てられ永遠に渦から抜け出すこと叶わず
闇にのまれて幽界の魔物となるやも知れぬ
されど神に命を委ね魂からの愛を信じ抜き
心から愛を顧みるならば渦潮は円錐の先にその身を押し上げ
魂を宇宙の親なる神の御元へ還らせ新たな命を生れさせ賜わる
我が身我が命を神に捧げアイに尽くしアイに応えろとは
真に誠を貫くということ
互いに忠義をお誓いなさること
これぞ真実のアイというもの

マサミ様

お誕生日おめでとうございます

レイと祝杯を交されていることでしょう

先のメールは退還り創還りの儀のときに弟橘姫様から賜った言霊です

あなたの心に暗闇などはもとよりありません

その思い込みが悲劇のヒロインを演じているだけなのです

あなたは愛する人の為になにもかも手放すことができますか

命がけで守り抜くことができますか

武士の妻は夫の武運が尽きたならば我が命を絶つのです

あなたは生まれ変わらなければなりません

心眼で神眼で観るのです

愛されて幸せになりたいというのはただの思い上がりです

愛は条件や駆け引きではなく無限で無償でなければ真のアイとはい

えないのです

心を自由に解き放ち光りに充ち溢れるあなたを見守っています

あなたはレイの宝なのです

リン

リン

彼女は始め弟橘姫の言っている事が全然わからなかったみたいだね
今マサミさんに解説したところだよ

キミに返信メールを打っているからもう少し待っていてね レイ

ありがとう レイ

マルタもあなたを愛していたの

何故マリアなの・・・と

真実に向き合い神に心明け渡すことがマルタを救う

レイ

わたしの深い心はあなたへの愛とマルタの心知らぬ振りをして

悲しませたことへの狭間で今も泣いています

あなたを愛しています

心から・・・

もうすぐマサミさんが真実に照らされる夜明けを迎えることでしょう

朝日が人の世を照らすと信じています リン

リンさん

昨日はごめんなさい

私は神様からたくさんのプレゼントをいただいたと思います

生まれ変わる最後の機会だと思っています

わたしの心の暗闇

未熟ななにかもを今は夫にも神様にもお見せいたします

わたしの心の拭いきれないものの正体・・・これがカルマなので
しょうか

返事に時間がかかりそうです

少し時間を下さい マサミ

マサミさん

飾ることなく繕うことなくあなたの素の心が見たいのです

なにも身にまとわず波打つ岩に立たされていると思ってください

わたしも裸であなたに向きあっています

もとより生まれた時に服は着ていない

あなたの素のままの言葉を待っています

リン

わたしは今日誓いと決意をしました
自分の気分と遊んでいる時はもう過ぎているのに何を考えているの
か……

未熟なことをいいことにハルキさんを飯事の相手にしていました
変わらなければいけない

真剣に真剣に

レイとリンの通って来た道は私がやがて歩む道

いつもハルキさんが言うように一人では無理

リンがいるから通れる杣道と……

そのことを彼が現れてから実感としてわかりはじめている

わたしは彼がいなければいつまでも心の底でハルキさんを恨みつづ
けていたと思う

わたしもリンさんも同じように大切とハルキさんがいうことが今な
ら実感できる

愛することに条件はなく見返りもないことを知りました

愛が無償で無限であることを知りました

マサミ

ハルキさんの愛は真実を明かすのです

あなたのメールをハルキさんにも伝えて下さい

リン

リンさん

わたしはまた夫を蔑にしてしまいました

お詫びの仕方わからないのです……どうか教えてください

わたしは元には戻りたくありません

アイを知り真の人になりたいのです……どうか教えてください

マサミ

あなたはハルキさんを自分の都合のいいように利用しているのよ

そして自分自身もね

自分を有らしめている存在を無視して自分の想いと都合ばかりに生きてきた

その結果が大切な人をも蔑ろにしてしまう

言い訳のない直ぐな心を思い出して

まだ間に合うわ

もしもあなたが望むならばハルキさんはわたしに会うことも無い
つもあなたの側にいるでしょう

あなたがそう願うならわたしは二度とハルキさんに逢わないわ
でもハルキさんは生きながらにして死ぬことになるでしょう

あなたによって リン

なぜわたしがハルキを利用しているの

わたしは二人を引き離そうなんて今は考えられない

わたしは二人が誰にもできないことをしていることを一番近くで見
ているのに……

教えてください

わたしの本当の姿を

わたしはハルキを利用していたの

わたしは知りはじめたアイをあらわす事を誓いました
もし再び同じ過ちをおこしたらすべてを失う覚悟です

リンさんごめんなさい

あなたの大切な人を無視してごめんなさい

またあなたに助けていただきました マサミ

マサミさん

あなたがこの地球^{ホシ}に生まれて来たのはハルキさんと出会い家庭を築
くことだけではなく

神の望まれるイノチとしてのスガタを天地に示すこと

真実のアイを学び次の世に引き継いでゆく使命があるからです

夫を尊び敬い尽くし労い真心で応えること

妻という立場に甘えて自らの想いを押しつける行いはアイを遊びレ
イを試そうとなさったのです

マサミさん

ハルキさんの妻はあなたなのよ

他の誰でもなくあなたでなくてはならないのです リン

わたしと同じように彼も導かれ成長してほしいと願っています

彼とわたしのメールを送ります

わたしが彼の心に応えられているかどうかを教えてください マ
サミ

好きな食べ物

思い浮かんだのはお水でしょうか

それは飲み物って感じですがなにか水以外にピタッとくるものが見
当たりませんか

ぼくの中で水は食べ物扱いなのかも知れない

機会があればいつも口にしています

マサミさんの好きな物は何ですか クレイディア

マサミさん

彼のメールはとても素直ね

相手にも成長して欲しいと願う気持ちは大切です

あなたが素直に彼を慕い恋心を思えば自然に成長しあえます

けれどわたしと同じ様に成長して欲しいと思うのは彼の上に立って
いませんか

人の心を変えようとするのではなく自分の心を律することが大切だ
と思います リン

わたしはハルキさんの尽くしがいつの間にか当り前になっていました

なんの感謝も憶えずにいたのです

わたしはただ受けるだけでした

ありがたいと思っただけでそれが声にも顔にも出るはずなのに
甘えていたわたし

今日だけのことではなく今までの自分の本当の姿を見せられて

愚かで浅ましい自分が垣間見え申し訳なくなりました

自分を賤けなければいけないと知りました マサミ

マサミさん

その言葉が聴きたかったのです

今のあなたの素直な気持ちが大切なのです

その心がアイを築き育てることに繋がってゆくのですから

愛は心に受け心で報いる事

妻だから当たり前と思うのは傲慢で驕る心です リン

私のもうひとつの悪い癖

自分で気がつかない内に人の上に立つこと

彼は少年のように素直です

その素直さを分けていただいたのに・・・

自分が変わらなければいけない

わたしは彼に応えたいのです

今のままのわたしでは応えるどころかやがて夫のように蔑ろにする
ばかり

彼の上に立ち彼を利用しようとしている自分があるのですから

ハルキさんにも教えてもらいました

今の瞬間に目の前の人を大切に尽すことが出来ないのなら

どんなに心寄せたい人にも尽すことは出来ないということをもた
えてみます

どうぞ真実のわたしを教えてください マサミ

人の上に立つということは神を足蹴にすることに等しいのです
心を素直にして彼の愛に染まる

愛に染まった素直さがまた彼の喜びとなり彼はあなたを愛する
その愛に応えてさらに尽す

あなたの尽しに彼はまたあなたを愛しむ

アイ仕合うということ

アイは無限に成長しあうことが出来るのです リン

わたしは彼の愛に染まり愛仕合えるように努力してみます
そのことが実感としてわかるまでメールをしていいでしょうか

マサミ

わたしは心を開いてあなたを待っています
何時でもメールしてください

もうすぐ夜が明けます

あなたも朝日に照らされて生まれ変わることでしょう

もう間もないけれどしばらく休みましょう

心穏やかに朝を迎えられるように リン

遅くまでありがとうございました

明るい気持ちを忘れずに目の前の人に尽くせるようにします

今日はわたしにとってかけがえのない誕生日となりました マ

サミ

マサミさん

今朝の横浜は薄雲りから雲が抜われて青い空が広がり始めています
あなたも笑顔と素直な気持ちを忘れず心にベールをかけてしまわな
いように

今日も目の前のお勤めを果たしてゆきましょう リン

わたしも朝日を見ることができました

リンさんありがとうございます マサミ

わたしもうれしいわ

どんなに雲に厚く覆われていても太陽はその上に輝いている
誰に見られることがなくても花は大地に咲いています

朝日に照らされたあなたの耀く玉心をわたしは見守っています

リン

ありがとう

わたしも真実のアイをあらわせるように努めます マサミ

人の内にそしてその周囲に次第に神のスガタアラワレイズル
それぞれにアイを学ぶ為に……

リン

暫くはマサミさんを頼みます

きつと一段と磨きがかかり輝く宝となるでしょう

言葉の端に出る平気で人の上に立つところはビシッと指摘してあげ
てください レイ

レイ

わたしは冷や汗をかきそうだったわ

それこそ気合いを入れるわね リン

7-3 マルタとマリア（神のフルイ）

マルタはイエスが愛していた

姉妹の村へ訪れマルタは家にイエスを迎え入れ

マリアはイエスの足元に跪き話を聴き入っていた

マルタはもてなしのために忙しく立ち働いていたがイエスのそばに近寄って言った（主よ、わたしの姉妹はわたしだけにもてなしをさせていますが何ともお思いになりませんか・・・手伝ってくれるようにおっしゃってください）と

彼女がこう言えたのはイエスが幾度かマルタを愛していたからだね
マルタは女房気取りでイエスの上に立っていたのです

そしてイエスは答えた

（マルタ マルタ あなたは多くのことに思い悩み心を乱している
しかし必要なことはただ一つだけである

マリアはよいほうを選んだ それを取り上げてはならないと）
リン

今のキミはボクと思案の領域が同一に成りつつあるようだね

キミがボクを尊び讃え恋しみ慕うからボクの領域はキミのものになる
こんな簡単な原理がなかなかわからないよね

両親や先生を見下しておいてから講義だけは聴いて知識手法や単位を盗る

見下している相手から一体何が学べると云うのだろうか レイ

レイ

わたしも不思議に思うのは人が自我の知識や想いで自分を凝り固め
それを相手にも強要しようとする事

アイは豊かな心を生むでしょ

それを人の心まで支配出来ると勘違いしているように思うの
タミオさんのように蘊蓄や言い訳を繰り返し

自己の想いを強要してわたしを支配しようとするなんて

やはり砂漠の体験が必要なのかしら

清水を飲んで生き返り力さえ湧いてくるといふ単純なことなのに

リン

リン

人は自己の世界に人を引き入れて仲間とし仲間が増えることで安心と満足を得たいのだね

良くダイエツト仲間では友達を密かに太る方へ誘惑したりするじゃ

ない レイ

そうね レイ

マサミさんは衣を脱ぐ気になったかしら

わたしに任せてといたいけれど

背後の方々と神にわたしを預けるわ

わたしが持てるものはアイと真心のみ

タマ・リン問答をリアルタイムであなたにお届けしようと思います

リン

妙貞問答だね．．．． レイ

はい あなた リン

私の感じるものが正しいのかお聞きしようと思います マサミ

いつでもどうぞ リン

神のフルイを読み返しています

神の一筋の光明は私の朝日でしょうか

私はアイを失いたくない一心でした

私自身のこととも感じました

私が内から外から揺られながら神様と出会えたことを想いました
そして渦潮にもまれ苦しいときに自分自身のしてきたことの結果を
みせられる

最後は神様の光を信じきれたときに救われる

わかるような気持ちもあつたのですが難しいです

すみません教えて下さい マサミ

始めにお断りしておきます

人の心が正しいか間違いなのかを自分では判断出来ません

でも自分の意思を神に問うことは出来るでしょう

だからあなたが感じたままでもいいのです

答はあなたの中にあるのです

神のフルイにかけられたらあなたは どうしますか リン

フルイにかけられたら私は落ちたくないと思い

周りに落ちていく人が少ないように見渡し手を差し延べ

そして私と一緒に手助けしてくれる人を大声で捜します マサミ

自分のことさえどうかもわからないのに

自分以外の人を本当に助けられると思うのですか

人の力ではなにも出来ないのです

フルイは喻えです

海の潮に巻き込まれて鼻からも口からも潮が襲い

息も出来ない声も出せない目も開けていられないのです

あなたは その時どうなさるの

ご自分のメールを読み返してごらんなさい リン

無力の私は渦潮に揉まれどうすることもできません
心の中でただ神様を呼びます

助けて！助けて！と

神様の力で助けられた私は神様の望むように生かしてくださいと願います

神様のアイをあらわすために全身全霊で尽していきたいと願います

マサミ

どんな答もあなたの意思が決めるのです

上辺を飾っても渦潮に巻かれたら纏ったものは嘘空だったと言う事がわかります

人は神のフルイにかけられたならなにも持てずなにもできないのです
あなたが誰かの手を取り助け出すというのはきれいごとだということ
とがわかりませんか

素のままに裸で曝されたときにあなたが信じるものはありますか

リン

私はただ夫^{ハルキ}を信じればいいのです

私のアイは未熟かもしれませんがそれでも精一杯してきたことは私が一番知っています

もうすぐハルキはあなたのもとにゆくでしょう

その時に私が邪魔でなければいいのです

私は夫婦の姿を死ぬまで演じきればいいのです

あなたは本妻で私は生徒

ハルキからそう言われていままでは心が揺れていましたが今は彼がいます

私の支えであり癒しです

私がい子供達の待つこの家にどんな気持ちで帰ってくるかは神様しか知りません

孤独の中でも私は神様を忘れずに信じ続けてきたから今があるので
す マサミ

あなたは本気で今のメールを書いたのですか
神様を盾にして挑むような・・・

でもやはりあなたの本音なのですね

偽らざるあなたの声

もう一度自分で書いたメールを読み直してみるのは

ハルキさんがあなたをどれほど愛しているかわかっているのかしら
その望みを知っているの

あなたは深淵の孤独を本当に知っているの

あなたは夫を偽り自分の気持ちを抑えるために彼を利用するのですか
それが神様を信じている事になると本気で思っているの

あなたが愛しているのは夫婦家族という名前ばかりの虚像ですか
夫も子供達もあなたのものなのですか

本当にそれでいいの

あなたは神を信じているの

本当にハルキさんや恋人を愛しているの・・・

リン

私の投げる癖は心まで投げてしまった

お風呂で落ち着かせてきました

ハルキさんを愛してないの

神様を信じていないのと問われ自分の感情に吞まれていたことに気が
つきました

昨日も今日も私は人を大切にできない

なんで自分のことばかり思ってしまうのでしょうか

今を大切にしないと過去も未来も変えることは出来ないのに

どこからやり直したらいいのですか

わたしはリンさんのことも傷つけてしまいました

昨日夫を蔑ろにして傷つけたばかりかあなたまでも

本当にごめんなさい

これが自分なのかわからない

どれだけ夫に愛されてきたかはわたしが一番知っているのに

わたしは神様の望みになりたいの
今の気持ちかなにもものなのか嫉妬なのかプライドなのか教えて下さい
変わりたいのです

建国の日まで変わらないと

レイとリンの人類を愛する心を一番近くで見ている私が何も知らないなんて

^{ハルキ}夫の悲しむ顔はみたくないのです

リンさん

ごめんなさい許して下さい

マサミ

マサミさん

わたしはあなたに傷つけられてなんかいません

ハルキさんの望みはあなたが心を偽ることではないと思います

あなたはそのまま死ぬまで心を偽って演技を続けるのでしょうか

リン

渦潮のことをお聞きしていたのに

わたしの素直な気持ちをみつめるはずだったのに……

どうしてなのかわからないのです

明日勇気を出して夫に聞きます^{ハルキ}

リンさんの心に応えられずにごめんなさい

本当にごめんなさい

マサミ

あなたが決めるのではないけれど

潮の道のことを知っておいたほうがよいかも知れませんが

素直な心を忘れずにハルキさんに尋ねるといいわ

答を求めないでただ真実が知りたいと思えば自然に導かれてゆくでしょう

過去を知り未来を信じ今を素直に生きるということですから
リン

胸におさまりました

ありがとうございます

夜には彼からのメールを送ります

これから応える事を教えてください

マサミ

レイ　あまり役にはたたなかったようで堂々巡りになってしまったわ
真実のアイを信じることを導き出せませんでした

あなたに尋ねるでしょうから後はお願いするわ

リン

今のマサミさんに潮の話は夢のまた夢

わかるはずはないでしょう

何故なら彼女は一部始終自己の気分に浸っているからです

神のフルイとはその人が素のままになって癖や習慣のあやまち

思い行いのあやまちが現実の人生に現われてわが身に返ると云う事です

その受け取り方で未来が定まることになるのです

マサミさんがこの頃人を大切に出来ないというけれど

もとより大切にしようなどとは思ってはいなかったと云う事があからさまになっただけのこと

今のままでは職場でも子供達からも

そして愛する恋人からもやがて愛想をつかされるでしょう

神のフルイとは己の正邪善悪是非がはつきりと判るようになる

それがフルイ

そして人はそこから勝負なのです

右か左かどちらを選ぶのか……

でもねリン

キミのおかげでマサミさんは自分が何を想い何を考えていたかがわかったことでしょう

真実の歩みはそこからだね

自分を誤って見ていては真の道は歩めないからね

キミもこの3日間寝ていないだろう

マサミさんのやり取りはヘビーだったね

でもこれは彼女にとってもキミにとっても必要なことでした

意味はやがてわかる時がくるでしょう レイ

レイ

わたしに委ねてくれてありがとう

マサミさんのメールはマサミさんの想いの真実とあなたの声を明らかにすることでもあったと思うの

メールを打つラブは重かった

壊れてしまうのかと思えるぐらいに一文字一文字を刻むように書きました

今日はお休みなので少しゆっくり眠ります

あなたのお帰りになるのを待っています レイ

自己の気分に浸る者に言葉は通じない

ただ自己の運命によって知るのみ

キミの努力も無駄になってしまうようだ レイ

レイ

泣いてはいけないのに哀しいわ

きつぱりとできない

プライドを脱ぎ捨てて真の気高さで天空の玉宝と輝くのを夢に観ていたわ……

夢に終わるのかと思うとジュピタ・も虚しく聞こえます リン

私が自分の気分の為に神様のアイを失うのは孤独の中を彷徨うのと同じこと

アイ人にはなれないのですか

神様に祈っても無理なのですか

私は自分の気分を律するためにやり直します

私の気分のもとわからない・・・助けて下さい

マサミ

真実の自分を見せられる事が神のアイだと云う事を知りなさい
今のキミは文句ばかりだね

ハルキ

自分をさらけ出せること

神様に恥ずかしくない自分となること

今この時から努力します

アイ人となる誓いだけは私に残して下さい

全身全霊で無償に無限にアイをあらわす・・・

この誓いをもち続けることをお許し下さい

マサミ

それはキミが考えているような綺麗なものではないよ

ハルキ

リン

マサミさんはここ3日が勝負処

それは瞬々刻々のフルマイで決まる

どんなに辛い時であろうと人に心からの笑顔が出せるかどうか

あらゆる瞬間に相手に応えているかどうか

あらゆる人に真心をむける努力が出来ているかどうか

この三つの事がキミとのメールのやり取りに見いだす事があれば

マサミさんは戻りが叶うかも知れず・・・

叶わねばボクが彼女を教え導くことも金輪際なくなるでしょう

レイ

ミウラは薄い曇り空

あなたのメールにわたしの想いを託してマサミさんに送ります

ありがとう

レイ

リン

マサミさん

今日のあなたはどんな感じですか

しばらく眠っていない夜が続いているから疲れたかしら

でもどんなに疲れていても笑顔を忘れないでね リン

いま家にもどりました

笑顔でお仕事してきました

いろいろ浮かんでは消える想いはありましたが白衣がわたしを律し
てくれました

今リンさんのメールを読み返しています

よく考えてからお返事しますのでよろしく願いします マサミ

さすがは白衣の天使ね

家事やら仕事で忙しいと思いますが落ち着いたら

ユルリとメールを下さい

待っています リン

わたしの心

マルタはイエスに擁かれどれほどの幸せを感じたことでしょう

お食事を作るのも身の回りのお世話も自ら進んでしたことでした

愛するイエスのために……

マリアがイエスの足元に跪きイエスの声に応えてうなづく度に髪が
ゆれて

マリアの指はイエスの足を慈しみ撫でている

マルタは同じようにしたかったのに近よることもできずに

イエスのために無償でしてきたその一つ一つまでがマルタを苦しく
させる

素直にマリアの横に行けばいいのに……

イエスの心の声を聞くことよりもマリアの方がイエスに近いことに

腹を立てていた

イエスの声は耳に聞こえ手を伸ばせばふれられるのに……

マリアごめんなさい

マルタは愛しかたがわからなかった

イエスの心を見ていなかった

マリアを嫌いな訳ではないの

マリアの祈りも聞こえるわ

マリアの暖かい眼差しも知っているのに

でもなぜだか素直になれない

苦しいときはマリアを呼ぶのに……

なぜ なぜ 何故 なぜなの マサミ

わたしにはマルタの心がわからないわ

あなたの心よ

マリアがマルタになれないようにマルタもマリアにはなれないのよ

あなたは羨んでいたの

それとも素直になりたかったの

愛するラビのお世話はなによりも喜びのはずなのに

リン

愛する人のおそばに居ることの喜び

わたしはマルタよりもタマヒの時よりも近くにいたことができるのに
それを自分の気分でするなんて…… マサミ

マルタもタマヒのときも神と共に愛する師のお世話をしていたのに

世界一の幸福者だわ リン

ありがとう リンさん

わたしはまたお陽様とお話がしたいの

明日見ることができると気がしてきた

リンさんの言う通りだと思う

もう一度メールを読んで応えなければいけないことを探してみます

マサミ

どんな事でもいいわ

質問ではなくておしゃべりでも リン

ハルキさんと目を合わせたときに笑顔をくれた
私の方が後れてしまった・・・

でもその時に私の心が動き出したのがわかった

アイは自由自在

私は救われた

アイはあらわさなければ通じない

何度も教えられるのにできないのは下手ではなくてやる気がないから
^{ハルキ}夫を見下してしまう私

あまりにひどすぎる

大切な人が誰かは決まっているのに

私の甘えを捨てなければ

甘えと委ねるは別のものだから

マサミ

気分は感情に左右されて目の前の事しか見えず右往左往してしまう
けれど

アイは揺るぎのない真実

大切なのは聴く耳を持つこと

聴くというのは身と心と行いにあらわす事よ リン

聴く耳をもち夫の言葉のすべてを受けて応えます

リンさんにご報告できるように マサミ

マサミさん

心を開いて聴いてね

言葉には魂が宿っています

心の鏡に自分という姿を映して

海の岩の上になにも纏わず裸で立って

波の飛沫を吹き抜ける潮風を受けてみるのよ

そして神に尋ねられます

あなたは真実の声を聴いたか

その声を信じてその声に従いフルマイを正し良い行いをしたかと・

・・・

もう大丈夫ね

あなたは愛する人の声を心で聴いて応えることが出来るはずだから

神はすべてをお見通しだから偽りがあればあなたは海に落ちる

正しければ神に包まれるわ リン

今まで出来なかった応えるということ

それを今教えていただいたても体が固まり心が震える

私がすべきことがわからない

教えて下さい

今出来ることを マサミ

イエスはゴルゴダの丘で梁にされる十字架を背負い

石を投げられ転んでも助けしてくれる人はなく人類の罪を一身に受け

た方よ

マサミさん 甘えるのもいいかげんにね

あなたはともに裸に晒されて丘をのぼり

投げられる石を体で受け止めることが出来るかしら

リン

私は一緒に歩きたい

その勇気を持つとうとしています

わたしも一緒にあなたの後について行かせて下さい

マサミ

あなたに勇氣はないわ
覺悟が出来ていないもの
勇氣はアイから生まれるもの
それに何故後ろを歩くの
わたしと張り合わないほうがいいわ
あなたとわたしでは始めから違うのよ
あなたにはあなたにしか出来ないことが在るのではないかしら
どうしてそれがわからないのかしら
わたしはあなたにはなれない
あなたはあなたよ・・・
あなたの心に聴いてみて
そこに答えはあるのだから
神様はなんのためにおられるのかしら
リン

一瞬の吹雪

雪はただ風に身をまかせ宙を舞う
その白さに意志と美しさをもち続けながら
その姿からわたしはあなたの歩む大道を自らの意志と望みで歩むこと
笑顔であなたに伝えあなたのアイを笑顔で目の前の方へ渡す
そしてアイは縦横無尽に広がりやがてわたしに帰る
それがアイのスガタ
アイ人のツトメ
あなたとのムスビ
マサミ

降る雪と 吹雪く風波寄せ返し 交わりあいて御代を創^オりなす
キミが悟った通りです
そして油断なく厳かに実行
神がマサミさんをして為さしめるのだからそのつもりです
キミは神のアイ人となりて
キミのメールはリンにも送るといいですね
ハルキ

はいあなた マサミ

リン

どうやらマルタが

マサミさんが誕生したよ

キミにも伝わっているだろうか

霧は晴れ一瞬の雲間から星が瞬いたよ

キミのお陰だね

ありがとう レイ

レイ

よかった

うれしいわ

おめでとうあなた リン

リン

本当にうれしいよ

言葉では語りきれない レイ

レイ

本当によかったわ・・・

わたしもお誕生日に便乗してビアで祝杯をあげます リン

リン

明日はキミに逢えるね

とっても楽しみだよ

いまマサミさんともビアで乾杯しているとこるぞ

リン

キミと乾杯 レイ

三人でグラスを交わす日もきつとやってくることでしょ

レイ

マサミさん

乾杯！ リン

おめでとうございます マサミさん

新たな御代とともに迎えられる喜び

感激もヒトシオ

神のご加護と祝福があらゆる生きとし生けるものに響き渡りますよ
うに リン

今日の私にも神様はXの光を送っていただきました
ありがとうございます

アイズは一日曇り空

雨がしつとりと降りつづいています マサミ

レイ

建国の夜明け

今日の日をあなたと迎えることが出来る

この喜びを語ることばかりが見つかりません

世界中に発信したいあなたを愛していること

あなたと愛し合える喜び

心は言葉を越えて時を超える

わたしはあなたとともにある

太古から連綿と続く波の寄せ返しを聴き

清々しい風が頬を撫で髪をユラス

太陽は燦然と耀き大地を照らし

光り遍く照らすアラタマの朝焼け

マサミさん

私達この御光を受けてアイに染まりゆきましょう
今日の日をともし喜びましょう リン

愛しいキミよ

キミと迎えるアラタマの朝日はきつと金色に耀くだろう
キミと永遠をともし レイ

おはようございます

今日はこれから実家に行つてまいります

昨日教えて頂いたように父母に努めてまいります

わたしは生まれて初めて生み育てていただいた父母に笑顔で応えようとしていきます

あなたが観ていらつしやると思い努めてまいります

マサミ

いま実家の前につきました

ここに来る途中曇り空なのにお陽様から優しい光を受けていました
その光にあなたを感じていました

リンさんと私の心も一緒にしていただくように祈りました

あなたが普段から人を大切にしていなと教えてくれたのが今
ならわかります

わたしは自分の心を中心において人に愛を伝えたいと願っていた
人を中心において自分がどのように尽くせるかが大切なのに
今まで人の気持ちを考えてもみなかった自分がわかりました

わたしの愚かな癖と習慣

わたしのの中の清く美しい神様にならなければいけないのですね
まだ笑顔一つだすのに苦労しているけれど苦労は大好き

今は必ず神様が応えて下さるから

マサミ

キミは自分の過ちに気がついてそして補うことを覚えたね
しかし書いたメールを必ず読み返すという事をまだしてはいないね

必ず読む方の心で読み返す
復唱確認をするということ

そうすれば送る前に大概の過ちには気がつくはずです レイ

わたしは彼を批判し自分の思い通りにしようとしていました
そして思い通りにならない彼に感情をぶつけていました
彼の立場を考えることができていればそんな要求はできないはずなの
に

彼の不安や痛みを無視して自分の心の要求ばかりで彼の気持ちに
応えていなかった

笑顔で応えられる自分になりたい

愛で彼を包んで上げたい

あなたからいただいた愛をお伝えしたい マサミ

マサミさん

嫌いな人に尽せないならば好きで好きでしょうがない人にも
尽くすことはできないという事が今ならわかるでしょう レイ

あなたを想ったと同時にメールがありました

あなたはいつも見ているのね・・・

りみさんの歌はともいいですよ

あなたの好きな歌はわたしも好き

涙そうそう

時間は限りがあるものね

大切に慈しんでゆきたい

それは永遠に繋がることでもあるのだから マサミ

りみさんのアルバムに童神ヤマトガミは入っているかな ハルキ

入っています

天のお父さまがわたしへ送ってくれている感じがします

愛されている安心のようなものを感じています マサミ

古の 今時を越えキミとボク 神のまにまにあわすアイの手
レイ

古の アイに应えてアイ刻む 時は未来へ移り往くかな リン

キミとボク あわす心は揺ぎ無く 天地にアイを育てユクカナ
レイ

宇宙^{ソラ}に生れ 地球^{ホシ}に生れにし双子龍 天地にアイの花を栄^サかさん
リン

キミの待つ ミサキへ向かうペガサスの 翼を照らす眩き朝日
レイ

天翔けて 星の憂いを晴らせしめ 妙なる貴美とユニの蹄で
レイ

ユニコンの セナに揺られて駆け巡る 煌めく銀河^{ソラ}宇宙の旅路を
リン

愛し貴美 安らき眠り夜明け待つ 送る報せは旅の曙 レイ

7 - 4 ユニコーン

レイ

麒麟は中国の神話の中で神の世が現われるときに姿を見せるそうよ
一角獣で鹿に似て牛のしっぽに馬の蹄に5色に彩られたからだ
麒麟は徳の高い人が国を納めるときにだけ姿を現すといわれている
あなたのフォトにも近頃頻繁にお出まししているわね
大地に最後の光りを投げて静かに沈んでゆく太陽
愛しいあなた

あなたを想いながらまどろみの中にいました
わたしも起きてお仕事に行く支度をします
エルムが出る頃にはあなたはアイズに着いているかしら リン

ボクがマインを手に取るとキミの報せ
今は那須高原

夜空に天高く星々は煌めきを増してゆく レイ

北へ向かうあなた
あなたと駆け巡る銀河のソラ
今日も新たな一日の始まりね
今日より明日へと時を刻んでゆく
あなたと歩む建国のトキ
すべての生きとし生けるものの上に曙の旭が現われますように
リン

東の空がほのかに明るみ初めている
やがて世は明けて陽は遍く世界を照らし合せるでしょう
レイとリンはアステイに生れる前のキミとボク
アルテシアとメイシアはイミュエルからだね レイ

レイとリンはやはりアステイ以前だったのね
レイ

新たな何かが生まれ初めているの
川の流れのような感じを受けているの
わたしとあなたの祈りは神の手に委ねられているわ
それが何かはわからないけれど
わからなくてもかまわない

時が来れば川は流れ出すと信じているもの
リン

リン
ボクがいない時はエルムのモノタチがキミの心を癒すだろう
新たな潮流をボクも感じている
きつと実現するね
レイ

レイ
わたしはあなたの声がスキ
わたしの名前を呼ぶその声がわたしの眠りを覚ましわたしの魂は喜
びにフルエル・・・
あなたがスキです
リン

リン
キミのまなざしがボクの力を呼びさます
キミあらずしてボクの何もない
ボクはキミを愛する
キミがボクのすべてだから
キミ無くして今のボクは生きる事も叶わない・・・・・・・・
ミサキの桜

今度エルムに帰る時は満開で迎えてくれる事でしょう
レイ

レイ

あなたに誇れるものがあるとすれば堪えて耐えて待つわたし
レイ

わたしが誇れることがあるとすればあなたを愛する想い
レイ

あなたがわたしを想いイダク心は虹のように七変幻
アナタを愛しています・・・・・・

あなたにユニコーンを贈ります

ユニコーン

おまえのセナにわたしをノセテともに宇宙^{ソラ}を駆けぬけよう
ユニコーン

おまえの角は気高きアカシ天意を示し正義を問う

おまえのたてがみは真白き雪のように風に舞いユレル白銀の輝き
おまえの蹄は力強く大地を蹴りそのいななきは天地に轟き渡る

ユニコーン

おまえの姿をみたものは心打たれ跪く
そして目に出来ないものの心魂をユサブル

ユニコーン

おまえの瞳は黒く深遠なる宵闇
おまえの瞳は闇を妖しく照らす赤月

おまえの瞳は莊嚴なる曙の旭

おまえの瞳は夕暮れを彩る赤光

おまえの瞳は碧くタユタウ海の耀き

おまえの瞳は濡れた朝露の煌めき

ユニコーン

おまえの瞳は七変幻

時と事のアラワレに変幻する

ユニコーン

おまえがわたしをミツメル瞳は古からかわらぬ琥珀の色
わたしを擁き見つめる夜はおまえの瞳は命の蜜色
おまえのセナにユリ揺られ

星に跳ね月に跳ね銀河に跳ねて

遠き過去から永久の未来へと流転のウズをくぐり抜け

光アフレル神の庭井へ

ユニコーン

おまえの願いはわたしのイノリ

おまえのセナにユリユラレ

天の宇宙^{ソラ}を駆け巡る

おまえとならば夢幻の旅路へ

おまえとならば無限の彼方へ

おまえとならば遙か遠き命の果てまで

おまえのセナにユリユラレ天の宇宙^{ソラ}を駆け巡る リン

おはよう リン

ボクは小さい頃背中^{ソラ}の毛が濃くて

母がタテガミとおっしやられていたのを思い出したよ レイ

レイ

あなたの肩甲骨には翼があるからあなたはタテガミを持っていて
働きによってペガサスやユニコーンに変幻するのね

わたしも毛深くて背中^{ソラ}には渦巻きがあつたのよ リン

キミのユニコーンの詩

いつかキミと駆け巡った宇宙^{ソラ}を映像にしたいね レイ

アア レイ

絵に出来たらすごくステキ

アニメーションにできれば子供達に夢が生まれるかも知れないわ

リン

そうだ

随分前にある方が描かれた絵を思い出したよ
あらためて見て本当に驚いた……

レイとリン

アステイ以前のキミとボク

キミにも送ります レイ

レイ

言葉がでないわ……

リン

陰暦は太陰（月）の満ち欠けを主とし太陽の運行を併せ考えて作られた暦です

日本の旧暦

ユダヤ暦

中国暦などは太陽太陰暦と陰陽暦

イスラム暦は太陰暦に当たります

ですから18日の陰暦の正月はとても大切な新年の幕開けなのです
ボクは旧暦の大晦日から元旦二日三日の夜明け前まで

エルムでキミと過ごします

レイ

レイ

あなたと過ごすお正月

あなたとの8度目のアイ

リアにハクリユウと女神の絵とユニコーンの詩を見せました
ステキと言うので転送しました

もしかしたら絵本を書いてくれるかも知れません

リン

楽しみだね

リアさんの絵本

彼女の心も変化しているようですね

キミの祈りがカルマをトカシアワセテゆくのでしょうか

レイ

ありがとう

わたしはリアと別れて京急にユラレテイマス

明後日はあなたと祝うお正月

新年は新月で始まるんですね

リン

キミと迎える新年は地球世界の新年です

すべての意味意義価値が変わる時なのでしょう

レイ

マサミさん

うさぎのタオルをありがとうございます

ハルキさんからいただきました

わたしを優しく拭いてくれるあなたの手のように感じています

逢えるときを楽しみにしています

リン

うさぎのタオルはいつかの桜を送ってくれたお礼です

今度ハルキさんがいく時はミウラの満開の桜が見られるのでしょうか

ハルキさんの見た桜をわたしも感じることができるといいのですが・

・

アイズが桜の頃にリンさんに会えるのを楽しみにしています

わたしはまだまだですがその時までには少しでも成長したわたしになって

お会いできるのを楽しみにしています

マサミ

レイ

今日もあなたを想います

あなたの唇あなたの指先

わたしの頬を優しく愛しげにはさんでキスをしてくれるの
太陽は丸く輝く橙色

なんとも言えない美しさです

これから迎える新年を天地もお祝いしているのね
リン

リン

風は止みオレンジ色の太陽が輝いているね

キミと過ごす年越は永久の始まり

揺ぎ無い未来をキミとともにを刻むのです

リン

キミと再会してから八度目のアイ

キミとボクの永遠の道

キミがいるから真実の道を歩む

キミがいるから怖れない

キミがいるから人を愛する

キミがいるから堪えてゆける

キミがいるから英知になる

キミはボクの半身

キミの憂いはボクの悲しみ

キミの願いはボクの望み

リン

キミと真実の道を歩み続ける

キミとともに
レイ

レイ

あなたの帰りを待っています

明日は午後から診療研究会

夜は一華さんと引越しのお祝いで上大岡に行く予定です

あなたのお戻りをエルムでお迎えしたいのであまり遅くならないようにするわ
リン

明日は仕事が終わる時間によるけれど

上大岡でキミを乗せて一緒にエルムに入るのもいいのでは
それまで一華さんにつきあって頂いてはいかが レイ

レイ・・・

ありがとう

いつも一華さんとはおしゃべり4時間コースなの

あなたにお願いするわ

わたしを迎えに来て下さい

思い出の丘に・・・ リン

ユニコーン

あなたのセナにわたしをノセテともに宇宙^{ソラ}を駆けぬけよう

ユニコーン

あなたの角は気高きアカシ天意を示し正義を問う

あなたのたてがみは真白き雪のように風に舞いユレル白銀の輝き

あなたの蹄は力強く大地を蹴りそのいななきは天地に轟き渡る

ユニコーン

あなたの姿をみたものは心打たれ跪く

そして目に出来ないものの心魂をユサブル

ユニコーン

あなたの瞳は黒く深遠なる宵闇

あなたの瞳は闇を妖しく照らす赤月

あなたの瞳は莊嚴なる曙の旭

あなたの瞳は夕暮れを彩る赤光

あなたの瞳は碧くタウタウ海の耀き

あなたの瞳は濡れた朝露の煌めき

ユニコーン

あなたの瞳は七変幻

時と事のアラワレに変幻する

ユニコーン

あなたがわたしをミツメル瞳は

古からかわらぬ琥珀の色

わたしを擁き見つめる夜は

あなたの瞳は命の蜜色

あなたのセナにユリ揺られ星に跳ね月に跳ね銀河に跳ねて

遠き過去から永久の未来へと流転のウズをくぐり抜け

光アフレル神の庭井へ

ユニコーン

あなたの願いはわたしのイノリ

あなたのセナにユリユラ^{ソラ}天の宇宙を駆け巡る

あなたとならば夢幻の旅路へ

あなたとならば無限の彼方へ

あなたとならば遙か遠き命の果てまで

あなたのセナにユリユラ^{ソラ}天の宇宙を駆け巡る

リン

神でもボクを・おまえ・とはおっしやらないよ

レイ

レイ

そうだわ

あなたをおまえとは言わない

ごめんなさい

御前様という… ああでも違うわね

神様でさえ言わないわ

ごめんなさい レイ リン

リン

キミが書いたユニコーンはすでに数人の人の目に触れ心に触れている

その方々に間違いを説明しお詫びしてその詩を消滅していただき
正しい詩をさしあげなければならないね

ボクはマサミさんに転送してあげているよ

その方々が消滅して下さらなければボクは二度と

エルムに帰ることは叶わなくなるでしょう レイ

マサミさん

キミはここ数日ボクが彼のことに言及したときにボクに反感を覚えていた

ボクがアドバイスして書いたメールに彼からの返事が来た時も

キミは（ほら こんな返事がきたじゃない どうすればいいのよ）と
ボクを責めてメールを転送してきたね

そのボクへの不信の積み重ねが昨日の・そうなの・前回の・そうなんだ・のボクを無視して足蹴にする言葉になってキミの口からでたのです

キミの以前リンに送ったメールを添付しました

この時にキミは神に約束して誓ったんだ

忘れてはいないね

今後ボクが教え導く事は一切無くなるでしょう

《私は知りはじめたアイを無限に無償に全身全霊であらわす事を誓いました

もし再びアヤマチをおこしたらすべて失う覚悟です

リンさんごめんなさい

あなたの愛する人を無視してごめんなさい

また助けていただきました マサミ》

今日は旧暦の大晦日だから部屋を片付けて大掃除をしておきなさい
壁の蜘蛛の巣等も綺麗に取り払って置くように

自分の心とおもって綺麗にして調えるのだよ

子供達にも自分の部屋を掃除させなさい ハルキ

はい わかりました

その為だったのですね

守護霊様が同じ響きを伝えてくれていました

そしてエブロンを買ってきていました

いまわたしが神様に背きながらも生かされるわけを考えていました
あなたが父なのだから子供達もそれぞれ自分の道を生きてゆくこと
でしょう

わたしに残していただいたツトメは母としての務め

それを日々重ねていきます マサミ

レイ

あなたが直してくれたユニコーンの詩を読み

わたしの大それた過ちに気がつきました

天地の真理を正しく伝えることの意味をわたしは表面^{オモテ}だけで捉えて
わかったように思い込み浅はかな行いをしていました

言葉に宿す魂を汚し踏み躪るフルマイを愚かで恥ずべき言葉使いを
お許してください

わたしのユニコーンは削除いたしました

リアへ送ったものも削除いたしました

そして正しいユニコーンを送りました リン

リン

マサミさんにも送ってあります

そしてみなさんが消滅して下さったことがわかるようなメールを
ボクに転送するのです レイ

レイ

わたしが見せたのはリアだけです

リアは誰にも見せてはいません

レイ

わたしは平家のように奢り高ぶっていたのですね

心からお詫び申し上げます

申し開きもできません

わたしは神の裁きに従います

マサミさんからのメールを転送します

マサミさん

わたしの書いたユニコーンの謡には大きな誤りがあります

奢り高ぶり愚かな間違いをしでかしてしまったのです

すぐに削除をしてください

他にも見せた方がいたらすべてを訂正したので削除して下さい
うにお願いしていただけますか リン

リンさん

メールの削除をするのは初めてなの

すぐにはできないので少し時間をください

いろいろ試してみます

でもユニコーンにハルキさんを重ねたあの謡が間違いとは私にはわ
からないけれど・・・

もうハルキさんから聞いていると思うけれど

わたしはリンさんの心に応えることが出来無くなりました

本当にごめんなさい

わたしはハルキさんを信じていないことも大切にしていないことに
も気がつかされたの・・・

今のわたしの心を占めているのは彼のこと

彼を傷つけてしまったことへの申し訳なさとは彼への想いの切なさ

ハルキさんは人にはできない天命をもち本当に神様のようだけれど

わたしはいつもビクビクしている

・ 側にいきたいけれどいたらないわたしを指摘されるのが怖い・・・

リンさんのアドバイスのおかげで普通では気がつけないような事や普通には持ち得ない心境をもつことができた

ハルキさんの導きあつての彼との出会いだつたけれど

彼はわたしのありのままをそのまま受け入れてくれた

わたしは昨晚も彼への想いに心が狂い

ハルキさんがわたしの為に諭してくださるその言葉を無視して足蹴にしてみました

わたしの癖と習慣

何気なさがそうしてしまう

もう覚悟の時

すべての行いは運命に現れるというように

目の前の人を大切にできないわたしはやがて彼の心も失う気がする
今でもそうなのかもしれないけれど・・・

今はわたしに残していただいたツトメを積み重ね

神様に出来ることを問いかけてゆきます

本当にいままでありがとうございます

あなたのお側に置いていただいたことで神様を知ることができました

わたしはマルタを越えてあなたに深い親しみを感じています

どうぞわたしが傷つけてしまったハルキさんを宜しく願います

わたしは新年を迎えるためのお掃除を始めます マサミ

マサミさん

わたしは神の言葉を汚しハルキさんを踏みにじる恥ずべき行為をしたのです

今は神の裁きを待っているところです リン

リンさん削除できました

メールを送ることよりも先にすべきでした

わたしってほんとにトンチンカン

すぐに応えられずにごめんなさい マサミ

ありがとう

マサミさん

正しいユニコーンの詩を送ります

改めて読み返していただけますか

リン

はい 待っています

マサミ

マサミさん

ハルキさんはあなたのことは何もわたしに話してはいないわ

只わたしは昨夜一睡も眠ることができませんでした

ハルキさんが安息なのではないと感じていたからでしょう

そしてあなたのことをマサミさんと本名で呼んでいたわ

あなたがハルキさんを愛していない

そしてあなたの都合のいいように利用しているということはわかっていました

あなたにも気がついてほしかった・・・

真実のアイに触れてほしかったのです

そして神様を敬い神様を尊ぶ心でハルキさんを見つめ直し

師と弟子の深い愛と絆を結びあわせてほしかったのです

マサミさん

わたしの心の友よ

あなたはマルタを越えてわたしに愛と信頼をくださいました

今もいつでもあなたはわたしの大切な友です

リン

ありがとうございます

リンさんの中にマサミはいてくれたのですね

今は神様にわたしの出来ることをさせていただくように願っています

そしてアイ人の祈りだけは残していただくようお願いしています

アイ人の祈りと誓いはハルキさんの心の響きとともに

わたしのカラツポの心に響いています

彼のことも彼が何を望んでいるのかよく考えなければいけないと思
っています

彼をハルキさんと同じように利用してしまいたくないので・・・
自分の心もよくわからないわたし

でも彼のために出来ることをなんとしても捜さなければ

アイ人の響きとともに・・・

これからもリンさんにメールすることを許していただけるのでしょ
うか マサミ

マサミさん

わたしはハルキさんの変わり身であるユニコーンをオマエと呼んで
いたのです

言われるまで間違いだと気がつけなかったのです

神様を蔑ろにしていたのはこのわたしなのです

あなたの心の声を聞かせて下さってありがとうございます

あなたのアイ人の勤めと恋が成就することを祈っています

わたしでよければいつでもメールをください

あなたとわたしも育ちアイなのだと思います

神から戴いたご縁ですもの リン

ありがとうございます

エルムに満ちあふれるアイでハルキさんを癒して上げてください

わたしもどんな辛い時でも笑顔を忘れずに生きてゆきます

ハルキさんとの約束ですから マサミ

マサミさん

わたしはエルムとともに消滅する定めなのかも知れませんが

ハルキさんは永遠にエルムに来ていただくことが出来なくなるかも
しれないのです

レイの安息と心の平安を祈っています リン

レイ

マサミさんのメールをすべてあなたに送りました

レイ

あなたを愛しています

あなたの心に癒しと平安が訪れる日が来ることを心からお祈りしております

あなたに申し開きのできないフルマイをしたことを

悔やんでも謝っても許されることはありません

わたしはどのような裁きも受け止めてゆきます リン

リン

今日は予定のとおり一華さんとお会いなさい レイ

はい わかりました

仕度を整えて出掛けます リン

マサミさん

キミはそのままでもいいのかい

リンに教わった事はないのかい

あるならばボクにメールをしなさい ハルキ

あなた

ごめんなさい

今もいただいたメールを見ていました

わたしは昨晚目の前にいるあなたよりも彼の気持ちを想いあなたを無視し足蹴にしました

わたしは彼を利用してあなたの代わりにしているのだということにも気がつかされました

そうして自分の胸の内ばかり想い巡らせていた時に

彼のことをあなたに指摘されてあなたに反感をもったのも事実です
飯事といわれても今の私は彼を想う事が安らぎでした

彼を逃げ場に使っていたのね

わたしの心の内があなたにはわかってしまつと知りながらも
素直に言えなかった

彼との関係だけは守ろうと思っていた

わたしは彼の胸の中で感じた安らぎを忘れられなかった

あなたのことを愛していないわたし

あなたのことを信じていないわたし

あなたのことを無視して足蹴にするわたし……

ごめんなさい

わたしはいつも口先だけでした

それなのにあなたがもうお帰りにならないのではと心配する

わたしはあなたに叛きながらあなたを求め利用しようとしている

恐ろしい心

赦してください

マサミ

今回だけはリンの過ちを赦します

リンを赦してキミを赦さぬ訳にはいかないだろうから

キミのことも赦します

でも仏の顔も三度まで

次はないと思いなさい

わかったねマサミさん

ハルキ

リン

事は済みました

詳しくは後で話します

ボクはこれからキミを迎えにゆくよ

レイ

レイ

わたしは電車にユラレテ上大岡に向かっています
ソラから零れる涙をこの身と心に受けながら

リン

あなた……

赦して頂いてありがとう

わたしは自分のためにごめんなさいと言っているのでしょうか
リンさんのように深い愛であなたを想うにはどうしたらいいのでしょうか……

あなたが赦してくれたわたしをわたしも赦します

これから叱られるのを覚悟してすべて胸の内をお見せします
わたしは誰をも愛せるようになりたいのです

リンさんのように……

あなたが先生であることをやっとなが受け入れた気がします
わたしは心からあなたをそしてリンさんを大切に思っています
いつか自信をもって愛していますと言えるようなわたしになります

マサミ

リン

マサミさんは以前ボクを無視して足蹴にしたときに
もう二度とあなたを無視して足蹴にはしない
もしもした時はすべてを失う覚悟ですと

あのときキミにメールした約束と誓いを神にしていたんだ
それにもかかわらず今回また同じようにボクを無視して足蹴にして
しまったので

ボクはマサミさんを事実上追放しなければならなかった

そこでキミのあのユニコーンの詩だったんだ

ボクはあの詩をキミに見せられたときに想っていた
キミが絶対にしないようなことをしていながら

キミはそれに気がついていなかったから

ボクはその時おかしいと思いながらこれには何かあるなと思っていた
キミには平静を装い詩を絵にしたらいいななどと言っていたね

神はマサミさんがまた同じ過ちをすることをご存知であられたのだね
あの詩が現れてから一週間ばかりしてマサミさんは案の定ボクを足
蹴にするのなもの

神は事前にキミに過たせておいてそれをボクに赦させて同時にマサ
ミさんを赦すように

慮っておられたのですね

リン

神の信の篤いキミだからこそ難しい局面でキミをお使いなられたの
だよ

キミは気がつかなかったかもしれないけれど間違いをさせられてい
たのです

もちろんキミでも油断があるということもまた教えていただいたの
だけれどね

だって

キミがボクのことを僕^{シモヘ}のようにおまえ扱いするのなもの

普段のキミだったなら絶対に出来ないことだものね

レイ

アア レイ

あなたを蔑ろにしたわたしをわたしは赦すことが出来ません
エルムとともに滅ぼうとも・・・

きっと神様がそうなさしめて下さるだろうと裁きを待っていました

リン

リン

自分を責めてはいけない

キミが自分を責めるならばキミをお使いになられた神は立つ瀬がな
いよ

どんな時もどんなことに対しても人は自分も人も責めるものではない

今回の件はのためのキミの学びでもあったのではないだろうか
キミも学んだ

そしてマサミさんも学んだね

それはとても尊いことだよ

ボクは舞台裏がわかっていただけれど演技をしなければならなかった
もちろんそれはキミを騙したのではないよ

現実にはすべては真剣勝負だった

でなければマサミさんはあのままわからず変わることにはなかっただ
ろう

ボクがあまりに真剣だったからキミは死のうとすら思っていたね
でもボクも神も承知

キミは自ら命を絶つようなそんな愚はしないということ……
神が殺すならなんとも思わないキミだからこそ

今回の件を通ることが出来たのではないだろうか

そしてマサミさんが変わることが出来たのもね

レイ

でもあなた

わたしはそれでもあなたを傷つけたわたしを赦せないのです
リン

リンは迎えに行ったボクの車の中でずっと涙に染まり

哀しみと自責の念に駆られていた

エルムに着いてもリンの涙はとまることを知らぬように零れるのだ
った

ボクはただリンを抱きしめキスをしてボクの息吹を移していった

リン……ボクのリン

ボクはキミが立ち戻り眩い朝日のなかを吹き抜ける春風のようなキ
ミに戻ることを信じている

ボクはそれ以上リンに説明も慰めも言わず只ずっとずっと抱きしめ
てキスをしていた

やがて朝を迎えるときに窓辺から光が射し入るのを感じていた
レイ

明けましておめでとうございます

先程旧暦のお正月とお話ししながら

あなたがくださった豆大福を子供達といただきました

新たな心で新年を迎えることができて本当に嬉しく思います

あなたとリンさんのおかげです

そして彼のおかげです

いままでわたしは終始自分の想いをぶつけるだけでああなたの心も彼の想いも

うけとることも応える事もしていませんでした

だから彼も私達の真実を受けとることができなかったのでしょうか・・・

・・・

疲れたと彼が思っているのはそれだけ一生懸命わたしのことを考えてくれていたのだと思います

今はわたしの成長を助けていただいたことに感謝しております

彼によせる想いを感謝に置き変えてお祈りしています

りみさんの童神にのせて・・・

彼がわたしとのことを恥じることのないように心を調え自分を磨いてゆきます

あなた

本当にありがとうございます

わたしの渴いた心からやつと涙が零れてきました

どうぞ彼も新たな年をお迎えすることが出来ますように

すべてが彼の自信となりますように

わたしの祈りが自己満足からのものでなければ

あなたの翼をつけて届けてください

エルムでのあなたとリンさんの穏やかな時間を私も大切に過ごします
マサミ

マサミさん

旧暦の元旦の今日

キミが経験したことは必要不可欠
すべてはそれで良かったのです

何故かは今のキミが証明しているよ

キミはとてもステキになったね

またこれからもっとステキになるだろう

来週の月曜日はキミとのデートだね

楽しみにしているよ ハルキ

はい

私も楽しみです

あなたを一途に思えるのもまた幸せ マサミ

新年が開けて一日目の朝に見た夢は廃墟の庭の手入れをしてもらう
夢でした

『瓦礫を取り除き木や花を植えて欲しいのです』と庭師さんにお願
いしたところ

『このお庭のお手入れには113日かかります』とのお返事でした

リン

マサミさん

お仕事ご苦労様

キミはもうすぐ家に着く頃だね

今日リンは午後1時からお仕事で帰りは8時頃でしょう

ボクはエルムでお得意のビーフシチューを作っています

最近で作っていなかったから来週の月曜日はボクのシチューをキミ
にもご馳走しよう

今日は白虎で夜の10時頃に着くでしょうか レイ

レディを一人ぼっちにしてしまつて抱きしめていたところ

リンさんのメールが入っていたのでレディが寂しくなくてよかった
今日は予想通り青空が広がり夕日はすごく大きく濃いオレンジ色

一日中神様の力強さと優しさを受けていたの

わたしもしっかりと一日を過ごした感じがします

レイとリンが手を広げてくれるなら暗い夜空もホップステップできる
今度のデートのメは久しぶりにあなたのビーフシチューが食べられるのね

あなたのシチューは格別の味わい

デミグラスとトマトソースが混ざり合つて自己主張せずに溶け合つて
お互いを美味しく際立たせています……

あなたのお帰りは楽しみだけれどリンさんが一人になるのは寂しい
から

あなたの心をシチューにいっぱい詰めてきてね

わたしが暖めて貰ったぶん今度はあなたとわたしでリンさんをサン
ドしてあげたいの マサミ

レイ

あなたは白虎で高速を走っている頃でしょうか
今ビーフシチューをいただいています

あなたのビーフシチューはアイの味わい

あなたのシチューを戴ける方はアイのお裾分けをからだ中に感じる
ことでしょう

リンはあなたのシチューに融けあいたい

あなたのお仕事が一段落ついたら

エルムに帰って来てくださいね

わたしはあなたのトマトソースになって待っています

リン

マサミさん

ハルキさんはエルムを立ちました
あなたの優しい笑顔の元に帰ります
たくさんのアイと慈しみをお土産にして
あなたとわたしの愛するかけがえのないお方
もうすぐあなたの元へ リン

無事にお帰りいただくのがなにより嬉しい
笑顔でお迎えさせていただきます
新しい年にわたしの心も一つ大人になりました
リンさんの愛のように確かな形で愛を差し上げられるわたしになり
たい

ありがとうございます マサミ

星の见えない空
うつすらと影のように映る山々
やがて昇る曙のほのかな光りはやがて力強く地上を照し合わせるだ
ろう

キミのメールが今ボクのもとへ
愛しいキミ
ボクの愛するキミへ レイ

レイ
サライの風 そしてI'LL DO ANYTHINGが流れてい
ます
あなたがいるから今日を信じ未来を信じて生きてゆきます
あなたがいるから悲しみも越えてゆきます
愛しいあなた
わたしは待つわ
いつまでも リン

8 - 1 心の旅路（セカンドラブ）

私の心満ち充ちているの

必要な冬の厳しさがあつたからでしょうか

あなたのおかげです

春の楽しみかたも教えていただかないといけませんね

マサミ

マサミさん

種は育て上げるものです

キミの心もすっかり春が来たようだね

キミの上にも春が ハルキ

レイ

ただいまエルムに到着しました

リン

リン

いまマサミさんと話していたところ

マサミさんは進化したね

今後は十人位のボーイフレンドと付き合ってみようかなと言っています

ボクはサポートすると答えたよ

レイ

レイ

マサミさんはこれから益々経験されて

知性も美しさも備わり優しさと愛に満ちた女性になるのでしょうかね
これからが楽しみです

わたしがお役に立てるのであればなんなりと

リン

ありがとうリン

ボクはキミの尽くしに応えたい

キミの命の尽くしにボクは応えたいんだ

レイ

レイ

わたしは有るがまま愛するただそれだけ

あなたはわたしを愛して下さる

わたしにはそれだけでもう充分を越えています

わたしの目も口も手も胸も

わたしの体はあなたのために創られたの

わたしの望みもわたしの命もすべてあなたの為にあるの

わたしはあなたの為に生きています

あなたに必要でなくなる事があってもわたしはあなたを愛し続けます
リン

リン

キミがいない世界などボクは考えられないよ

レイ

センターは夕暮れが早く訪れます

3時過ぎには裏山に日が落ちてだんだん辺りは暗くなり

帰る頃には月や星が夜空を飾ります

周りが暗いのでアリオンは比較的よく見ることができます

おおいぬ座のシリウスとアリオンのペテルギウス

こいぬ座のプロキオンが結ぶ冬の大三角形

その中に一角獣座があるそうです

淡い光の星が多く肉眼でたどるのは難しいといわれていますが

あなたの空には見えるのではないのでしょうか

新月から3日目の月がゴンドラの様です

わたしの体は少しずつ白くなってゆくようです

リン

リン

こんなにもボクはキミを愛しキミはボクを愛しているのに……
キミと離れているときがただに切ない レイ

リンさんお疲れ様でした

わたしはリンさんとのメールのやり取りの中で自分の成長を実感しています

何をそう思うかというのではなく

リンさんの呼吸を感じ体温を感じることがそうなのだと

それはハルキさんを通しての事もあります

わたしはアイをフタリに見せていただき

それをあらわさずにはいられない衝動にかられています

わたしにもアイを教えて下さい

マサミは明日から旅にでます

アイを知るための心の旅路へ マサミ

マサミさん

あなたのお役に立てることがわたしの望みでありハルキさんの望みでもあるのです

遠慮を棄ててわたしにあなたの心を見せて下さいね

わたしがあなたに教えて差し上げることがあるならばそれは唯一つ

アイの真実

いつもいつでもわたしはあなたの側におりますのであなたが必要な時にお声をかけてください

あなたの心に満ち溢れる想いを素直にあらわしてね

それとマサミさん

どうかわたしをリンと呼んでください リン

いましばらくはリンさんと呼ばせてください

お会いしてあなたの全部を受けてわたしのすべてをみていただいてから

それから呼ばせて下さい

今はなんでも出来そうな自信をフタリからいただきました

明日がくることだけで嬉しくて感謝をしています

クレイディアはわたしの荷物を全部引き受けていつてくれたようです

わたしは身軽になりました

リンさんの言う通り夜明けは必ずくるのですね

いつまでもこの気持ちを忘れずにいなければと思います

マサミ

あなたがお好きな呼び方をしてね

でもあなたの想いはよくわかるわ

妬み怨み蔑み無理解からは悪がはびこりそこからはやがて争い殺し

あいがウマレル

未来を担う子供達には愛と平和を残してゆきたいもの

互いを敬い慕い慈しみ認めあうならばそこから生まれるのは普遍の

平和だと思います

わたしは祈ります

目に見える手にふれる今日の出会いが愛と平安に染められますよう

に リン

リンさんの祈りをわたしの祈りにさせてください

わたしもふれあった方々の平安を祈りたいとおもいます

マサミ

あなたの言葉であなたの祈りを

あなたがかかわるすべての生きとし生けるものは

あなたの命を育み支えているということを忘れなければ

自然に感謝の想いが湧いてくるはずです

リン

ありがとうリンさん

すべてに感謝できる

それは仕合せのスガタですね

なにげなく過さず周りを見渡します

ハルキさんはもうお休みなのでわたしも休みます

すべての生きとし生きるもののお役に立ちますように

おやすみなさい マサミ

アイズの空はどんな模様かしら

今日もあなたはお仕事かしら

今日一日のお勤めが人々のお役に立ちますように リン

アイズは曇り空

少し霧も出ています

昨日は忙しさにかまけて患者さんへ心が向き合っていないことに気づかされ

挨拶一つにも心に届くように心がけようと思いました

和やかに働いてまいります

リンさんがナースでよかった

いろいろ教えて下さいね マサミ

本当にそうね

私達がふれあう方々は自分を写し出す鏡でもあると思います

ため息が出るような方もおられますがそれならば尚更に真心込めてため息もスマイルに変えてゆきたいわ

ナースは天使ですものね リン

今日も一日穏やかに過ごすことができました

天使には届かないけれど笑う門には福来たとありますが本当にそうですね

今日は笑顔の多い日でした

神様はわたしにわかりやすくしてくださるようで自分の現実を相手の姿でみせていただいています

日曜日にハルキの知り合いの方と会うことにしました
わたしもリンさんとレイのようになってみたい
その思いとどうしてクレイディアだけと思っていたのか
なにが違うのか知りたいと思うのです マサミ

リンさんへのメールの途中でクレイディアからのメールが入りました
わたしは今の思いのまま
このままの思いのままでいいのかな
神様の心と自分の望みが同じなのかな
何故だかハルキさんの知り合いの方と会いたくない・・・
クレイディアのメールを読んだら少し混乱してしまつて
リンさんだったらどうしますか マサミ

マサミさん

あなたはいろいろな方とお会いしたほうがよいと思います
何事も体験と実践は必要よ

あなたがクレイディアのために躊躇する気持ちもわからなくはない
けれど

その想いを確かめるためにも気楽に会ってみたらいかがかしら
好奇心は大事よ

何故どうしてこうなるの

何故心は自分の意志に反してコロガルノ・・・

それを知るための出会いもあるのだと思います

何事も経験

アイを究めるには数多の男性を知る必要もあると思います
答はあなたの中にある

誰にも遠慮はいらないわ リン

ありがとうございます
予定通り会ってみます

そしてわたしの心の在り処を確かめてみます
クレイディアは彼の望んだ分だけ応えていきます
おやすみなさい マサミ

おやすみなさい
あなたの思う通りに・・・
まずは行動あるのみ リン

レイ
雨のミウラ
稲妻が青く光り雷鳴が轟いています
龍神さまが来ておられるのですね リン

リン
あの絵のようなカタチが雲の中に見えるね
アイズは穏やかな曇り空
暖かくてもう4月のようです レイ

昨日はとてよく眠りました
頭で考えるより心で感じとりたい
そう思いました
レイとリンさんの見守りのなかでのことだからなんでも大丈夫の気
持ちがしています
いただいた翼を羽ばたかせるのはわたし自身ですものね マサミ

アイ受けて羽ばたくあなたの意志の翼
翼を持つ鳥も飛びかたを知らなければ大空を渡ることはできません
例え目の前に林檎の木があっても果実を知らなければ林檎はただの
木になる物
手を伸ばし口に含み甘い味わいを楽しんでこそ恋の味 リン

レイ

只今エルムに着きました
雨も上がって月が綺麗に見えています
あなたがエルムに来られる9回目の夜をきつと満月が優しく照らしてくれるでしょう

雨に散った桜の花びらが道を飾っています
ミウラは本当によいところです リン

白虎ライナー

キミが12日お休みできるならアピオを15時15分に乘れば東京八重洲に七時頃に着く

ミウラには九時半頃到着します

片道の料金が¥2600

詳しくは4日に帰った時にも説明するよ

これなら毎週キミに逢えそうだね レイ

!!レイ!

夢のよう

あなたに毎週逢えるの リン

今度の26日は申告等の用事があるけれど

3月はきつと毎週逢えると思うよ レイ

レイ

嬉しいわ

息がとまりそうなくらいに嬉しい

少しでもいいの

あなたと一緒にいて同じ時を過せるのなら・・・

あなたに逢いたい

あなたへの想いは日を追うごとく時を刻むごとに膨らむばかり
どうしたらこの逢いたさを鎮めることが出来るのでしょうか

あなたを愛しています

アア 言葉はもどかしいわ

3月は夢の月

わたしの耳にあなたの声を聴かせてね

首筋に残るキスマークの消えないうちに

リン

リンさんが教えてくれた林檎の味を自分で確かめなければいけませんね

日曜日にお会いする方にメールを入れました

せっくなので世の男性をよく観てきます

そして応える練習をしてみます

あぶなくなったらリンさんの名前を呼びますね

今回は落ち着いてデートできるとは思いますが……

よい報告が出来るようにします

明日は早番なので今日は体を休めます

マサミ

右でも左でも

どちらに転んでもあなたはあなた

気構えることなく新しい出会いの訪れを楽しんでね

わたしはあなたが不安にならないように見守っています

リン

リン

キミがこちらにきたときに何日でもいられるように店の一部をリビング&ベッドルームに改装します

アステイもあるよ

レイ

！！レイ！！

ウレシイ嬉しい

わたしのチャクラが火照っています

今リアと別れて京急に乗るところです

久しぶりのリアとのショッピング

来週の今頃はあなたの腕の中に飛びこんでいるかしら

あなたが恋しい・・・
リン

リンさん

明日はいよいよお会いするのですがクレイディアの時に比べたら嘘のように落ち着いています

男性に応える事の練習でもあると思うので少しでも満足していただけるようにと思っています

きつといい報告ができるようにしてきます

不安になったときはまたリンさんの心をお借りします
マサミ

今日はリアとゆっくりたつぷりショッピングを楽しんで充実した時間を過しました

やっぱり女の子はかわいいわ

明日のデートをあなたが心から愉しめば相手の方も凄くハッピーになれるわ

香水などがあるなら胸の谷間と腿の内側にほんのりつけていくといいと思います

リラックスするしほのかな香りに心和むもの

桜満開の笑顔で愉しんでね
リン

ありがとうございます

アステイでピカピカにできました

明日会うのが楽しみになってきました

ひと華咲かせてきますね

目がむくまないように早めに眠ります

マサミ

あなたが微笑むと風は優しく頬を撫でる

あなたはとても愛らしい

明日はあなたを想いあなたが望むときに側にいるわ

今夜はゆるりとお休みください リン

レイ

夜のページがまた一枚捲られました

来週はあなたと過ごす夜明け

ウサウサは時計を早めてくれているみたい

朝の明るくなるのが早くなっている リン

キミに逢えるまでのこの一週間はあっという間に進みそうだね
キミをアピオに迎えにゆくのが楽しみです レイ

レイ

あなたは今日もお仕事かしら

ウサウサにメイからありがとうを伝えてくれますか

あなたが恋しい（。ー）ホロリ リン

メールに気がつかないほど熟睡出来ました

相手の方に合わせてお尽くしして差し上げたいと思います

課外授業を楽しんで来ます マサミ

マサミさん

ぐっすり眠れてよかったわ

今日は鼻歌を歌いながら気楽に課外授業を愉しんで来て下さい
始めに挨拶するときには相手の方と目をあわせて

『はじめまして よろしくね』の想いを込めて微笑み
それから後は流れるままに身を任せるといいわ リン

そうします

経験のある方なので相手の方に任せます

アイズは今日もよく晴れています マサミ

リン

アイズは雲一つない空が広がっているよ

キミがマサミさんに心合わせてくれているから

キミのチャクラもデート中のマサミさんに共鳴しているようだね

ボクにも伝わってくるよ レイ

レイ

わたしの火照りを鎮めるのはあなただけ・・・ リン

リンさん

今帰ってきました

とても素適な方でした

今は転職を考えていることなどわたしにいろいろ話してくれました

普段奥様とはあまり会話がないうそです

彼は心の中を初めて会う私にすべて見せてくれるのです

心の支えには一緒にいるだけではなれないのだなと改めて思わせら

れました

ハルキさんは幸せです

リンさんがいて・・・

彼は40才で自分を確立したいと考えているようです

その姿を見て欲しいことをお話しなさるので見届ける約束をしました

真面目に私のことを都合のいい女にするのは申し訳ないと考え込む
ので

必要とされる時に会うあなたの都合のいい女でいいと・・・
本心からそう思えたのでそう答えました

またお誘いがあつたらお会いしたい方でした

見守りたいとか支えになりたいと思うのはわたしが人の上に立っているからなのかどうか考えています

彼はいろいろな恋愛などの過程を通らずいきなり会って愛を確かめあうほうが一番わかりあえるのかなとしみじみ話していました

それはクレイディアの時

そして今回の時と実感出来たことでもあり

愛しあう大切さを味わいました

リンさんの言うとおりあれこれ考えるより実践が大切なのですね

マサミ

おかえりなさい

わたしはラブを手にとりあなたへ想いを馳せていたらあなたからのメールが

とてもステキな出会いだったようですね

男性の方は孤独を胸に秘めていることが多いものです

一番のよき理解者であるはずの妻にはその心のうちを話すことも

寂しさを分かち合うことも出来ずに諦めてしまいがち

あなたという理解者ができたことは彼にとって本当に幸せなことだ
と思うの

見守るとか支えるとかではなくお互いが逢いたい時に会う

ただ傍にいてくれる

それだけで癒されるものよ

心はいつでも寄添うことができるのだから リン

マサミさんも彼と楽しく時を過せたようだね

ボクもうれしい……

これからも度々会う約束が出来たようだしね レイ

レイ

マサミさんの日々の進化が楽しみです

アイは真実

形や飾りではないですものね リン

リンさん

私も昨日まで知らなかった人に今は必要とされている
人の幸せを祈れる自分自身が幸せ

彼は浅草生まれでエディと言います

クレイディアもエディも同じように大切でありわたしにとって必要
と感じています

ハルキさんが今日クレイディアを見かけたそうです

エディのように辛くても笑っていれば目の前の人は救われるのに・

・

わたしも笑顔は努めてする尽くしなのだとあらためて感じました
デートのときもリンさんの見守りをずっと感じていました

ありがとうございます マサミ

マサミさん

エディとクレイディアはまったく違うし似ているところもあるので
はないでしょうか

二人の男性の似て異なることを学び取り

あなたはどの方にも合わせてゆくことが出来るようになってくださ
いね

自分の中にある想いと相手の方との違いを認め合い
違っているもそれはそれでいいと思えるように

あなたもわたしも似ている

そして同じようで違う

それが有りのままの姿 リン

有りのままの姿を教えていただいたのはリンさんかもしれません
一番身近なわたしを愛せずにいた頃もあったけれど
なんだか今は好き

人を大切に思える自分が好き

リンさんの畑でマサミは芽をだし初めたよう

もうすぐ季節は春になる

春になれば芽は伸びて花を咲かせ実を結ぶ

その方の力となりステキな人生を生きることが出来るなら

わたしは食べ尽されてもいいと思える……

わたしには出来ない役割がリンさんにあるようにわたしにもいた
いた役割があると思う

最近それがわかりかけてきました

以前に守護霊様がわたしの進む道は祝福なりと言われたことを感じ
ています マサミ

マサミさん

あなたの愛

あなたの姿

あなたの心根

あなたは応えアイの種を撒いてゆく

今ならわかるでしょう

すべては自分の意志が決めるのだということ

今夜はゆっくりとおやすみくださいね リン

リン

携帯のフォトを何枚か額にしてみたよ

とても綺麗なフォトばかり

キミが来たときにお店で見られるね

土曜日が待遠しい レイ

レイ

愛しいあなた

わたしもあなたへと心は飛んでいます

土曜日が待遠しいわ

いまタマゴを茹でているの

それとガーリックトーストとチーズとワイン

パプリカのサラダ

リンのディナーよ リン

ステキなディナーだね

ボクも一緒にいいかな

キミとグラスを交したい

キミと口伝えでワインを戴こうかな

キミのクチビルから流れ入るワインは至福の味

そしてキミのすべてをボクに レイ

アア レイ

もちろんよ

わたしもあなたとグラスを交しクチビルを重ねたい

わたしの口はワインのウツワ

わたしの舌も一緒に味わって

そしてあなたの口に含んだワインをわたしにも リン

お風呂で考えていたのですが二人はわたしが見える姿ではなく

ずっと奥の宇宙なる神様を通して互いの内なる神様を見つめ

睦アイ結びアイをしているのではないかと思うのです

わたしが見ていたのは目に映る彼の姿

彼のために心を動かしていたのかな・・・と

アイを伝えるその一歩は彼の中の神様に心をあわせることだったの
かな

これからわたしはもう自分のために生きようとは思わない
わたし自身が神様の為にはたらかせていただきたいと思います

マサミ

マサミさん

アイは目に見えるカタチではないということ
現わす姿だけではなく命すら惜しまない
相手を想う心から生まれる自然の気持ちなのです
言葉で表わすことは難しいわね
でもあなたが気づいて下さってウレシイ
あなたのメールを見て

人にはわからないと泣き言を言ったわたしが恥かしい・・・
マサミさんは素晴らしい方です リン

リンさん

人を想う心はステキですね
それだけは確かなものとしてわたしの心に芽吹きました
この想いを大切に育てなければいけないのだと感じています
そして切なさもあるこの胸の内を見つめてゆきます
明日のわたしに出会うのが楽しみ
今は少しずつ変われるような気がするから・・・ マサミ

マサミさん

あなたの想いを受けてわたしも応えられるわたしになりたいわ
あなたが問いかけてくれることがわたしを育むのです
進化は新歓

あなたのアイの実践とステキな出会いがあなたを導くのです
あなたを称えわたしは祈ります
今宵の眠りが安らかでありますように リン

ありがとう

おやすみなさい

私の目標 リンさん マサミ

今日も一日穏やかに過すことができました

わたしが穏やかに過すことが出来たことはわたしの周りの方も少なからず穏やかに過せたのでしょうか

忙しいのに焦りもなくスムーズに運びました

なんだか確実に職場が変わってきています

リンさんに朝メールのなかで伝えるその日の心掛けは

私の心に響くようです マサミ

ミウラは夜明けの訪れが少しずつ早くなっているようです

お陽様は優しく柔らかい暖かさで地上を照らしています

あなたの陽射しが人の心にも届いているのですね

冷たい北風ではコートを脱がすことはできませんものね リン

アイズは薄曇りでしたが今はもう晴れてきました

いままではわたしが北風でした

今はそれがわかります

愛に満ちたお陽様のようにになりたい・・・

リンさんのメールはわたしよりもわたしをわかってくれる

知ってもらえることの幸せを感じています マサミ

マサミさん

わたしもあなたの温かさでアイを受けて今日も一日を慈しむわ

リン

レイ

あなたに逢えない二週間はとても永い

キスマークも消えてしまったの（ノー、）クスン
消えないうちにあなたに逢いたい
わたしを抱しめて体中にあなたのマークをつけて欲しい
リン

アア リン

キミに初めてあつた8年前
あの時ボクは心の籠を外してキミを愛してしまっていたなら
もう止めることはできないと感じていたけれど
今にしてキミを愛するこの身と心は
あの時の想像をまったく超えていたよ
リン

ボクはこんなにもキミを愛していたんだ
こんなにもキミを・・・
明後日にはキミはボクのもとへ
ボクはキミの体中いっぱいにキスをするよ
愛するリン

キミを抱きしめてひと時も離したくない
レイ

レイ

わたしをつかまえてギュッとしてね
あなたを呼ぶだけでリンのチャクラは疼くの
わたしの未知なる性
秘めたる愛をあなたが引き出してしまったわ
明日白虎に運ばれてあなたのもとへ
あなたの腕に届けて貰うわ
待っていてね・・・
リン

あゆさんのPART OF ME
キミに送る唄
キミに聴いてほしい
レイ

レイ

東にはオレンジ色の月が丸く輝いています・・・

月の揺り籠

お目めを閉じて

お口を閉じて

あなたが眠りに就く頃に

星の明かりを燈しましょ

お耳を澄ませて聴いてごらん

星の女神が歌う謡

風にフルエル月明かり

お鼻に薰る

星のお花は

あなたのようないい匂い

月の揺り籠夢をのせて

お空を翔けて

月の揺り籠ゆらそ

ユラユラユラリ

あしたあなたに幸の花

風に震えるハナビラあげよ

お目めを閉じて明日の夢に

お口を閉じて心の声に

耳を澄ませて

お聞きなさい

可愛いミィちゃん

あなたを乗せて

お空にユラウ

ユラリユラユラ月の揺り籠

リン

リン

ボクはキミを愛している

何をもつてしてもあらわせないほどに

ボクの心はキミで溢れている

キミが無限のアイを灌いでくれるから

キミと歩む宇宙^{ソラ}の杣道^{ソマミチ}

東の空が白みだした

間もなく夜が明ける

PART OF ME 半身のキミ

レイ

レイ

あなたはわたしのソラ

わたしはあなたをまるごと愛しているわ

あなたはわたしの祈りわたしの命

あなたの痛みはわたしの涙

レイ

夜明けは少しずつ早くなっているわ

時の巡りはウサウサに任せて

あなたと向かう未来へと誘われる

あなたとなら怖れるものは何もない

あなたのすべてが大好き

わたしのすべてはあなただけのもの

レイ

あなたがスキです リン

アイズは雨が降り出しました

気温は上がったようで暖かい感じです

夕日を少し見られたのですが奥床しい優しい感じがしていました

お空の物語がわたしにもわかればいいのに

リンさん

エディが会いたいのを我慢しているってメールをいただいてかなり

参っています

わたしに恋人が必要でしたら現わしてくださいと神様にお願いして
いたところに入ったメールでしたので思わず涙が溢れました
彼が必要としてくれるならその想いに応えたい

そのことを繰り返し考えていました

彼のことをもつともつと知りたいから

マサミ

マサミさん

あなたはエディに逢いたいとお返事はしたの

あなたの切なさがわたしにも伝わってくるわ

心を見つめて溢れる想いに素直なままに

お役に立つとかではなくアイは素直でいいのよ

リン

わたしはエディに会う日まで元気に過ごすということだけを伝えたの
雛祭りの日で彼が娘さんのお祝いをするメールに書いてあったので
わたしはお互い与えられた役割を生きるのもステキねみたいなお利
口さんを演じていた

素直じゃなかった

今直ぐにでもあなたに抱かれたいとその一言が言えずに体裁を繕っ
ていた

今度メールがきたときは素直に気持ちを話してみるね

ありがとうリンさん

マサミ

相手の立場も自分の立場も大切ね

あなたがエディに送ったメールもわかるけれど相手の想いをコント
ロールしてはいけないわ

応えるということは真つすぐな気持ちを受け止めてあなた自身が相
手をどう想い

何をして欲しいのか伝えないと伝わらないと思うの

エディさんからメールが来たら素直に想いを伝えてみてね

リン

ありがとうリンさん

何が必要なのかそのまま受け取り心そのままにお伝えすることが大切なのです

わたしの心を見つめて書いたメールは保存メールにしておきます
彼には今の時間はメールが出来ないので・・・

お風呂でわたしの余計な心の垢を流してきます

彼はサラッとした感じが好みらしいのでサラッとしてきます

ちなみにお子さんの名前はサリーちゃん

リンさんありがとう マサミ

マサミさん

いつも有りのままな素直な心で

それが自分を認めて人を愛するということ

ハルキさんがあなたを愛し慈しむ気持ちがとてもよくわかります

あなたは自分にシンを持ってね リン

リンさん

わたしの中のシンをずっと考えていたの

このところわたし自身をカラッポにすることが必要だったから

神様はわたしに何をお望みなのか・・・

自分が正しさのなかにいるのかまだ心がまとまらないの マサミ

マサミさん

まとまらなくても定まらなくてもあなたはあなたにかわりはない

愛する気持ちがあればそれでいい

それだけでいいの リン

なんでもマニュアルどうりにできないと思ってしまふのはわたしの
悪い癖

リンさんが言うように本当はもっと素直で伸び伸びしていいはずなのに

そのうちに稲妻のように心が一瞬に光る時がくると思う マサミ

マサミさん

あなたの真心をわたしは信じています

夜の闇に閉ざされた地上も朝になればお陽さまの光りに照らさ
れて

草木は朝露で美しく輝いている

朝の来ない夜はない

冬が必ず春となるように リン

リンさんありがとう

夜のメールをエディに送りました

少し歩きはじめられたかな マサミ

よかった

悶々とするより一步を踏み出したほうがいいわ

千里の道も一歩から

一歩なくして未知の扉は開かれない

のびのびとしたあなたが

あなたのシンなのではないのかしら リン

そうなのかもしれない

そうでありたい

心はエディの好きなサラツと状態で マサミ

サラツとカッコイイ

のびのびとしていて風に舞い

風任せのマサミさん

エディにもう一度お会いしたらまた何かが変わると思うわ
アイは進化してゆくものだから
相手に心開き心寄り添わせれば何かかわり何かがわかると思う

リン

ありがとうリンさん

わたしのマニュアルはやっぱりリンさんだね

リンさんはどんどん進化するから追いつけないけれどわたしも進化
するよ

だって

息をして生きているもの

見守っていてね マサミ

マサミさん

進化のスピードは人それぞれに神様から与えられたもの

わたしがいくら背伸びしてもわたしは木の上になる林檎には届かない
神様は人に道具を与えそれを使う能力を授けて下さった

梯子を使い鋏を使えばわたしも高いところから林檎がとれる

リン

リンさん

なんだかたくさん力をいただいたようです

今はなんでもしてみても実感してみたいの

生きている実感をあじわいたいのかな マサミ

生きる力や希望

生きているという事

すべては神からの恩恵によりイカサレテイル

選択決定する自由の尊厳も与えられています

ただ人は気がつかないことが多くあるけれど……

与えられた命を祈りに代えて

今日も我が身を捧げ尽くしましょう

リン

リン

ボクは手が空いてキミのフォトを見ていたよ

キミが愛しい

たった数日キミに逢えただけだと言うのに……

アイズはよく晴渡り風が強く

龍神が縦横無尽に天空を舞われている

レイ

ヨコハマは風も凪いだ穏やかな空に大きな白い傘雲が架かっています
わたしは神々方のお話しの種になっているようです……ミニ
コラレティルミタイ

アイズの空には龍神さまたちが訪問されておられるのね

今日は傘を買って帰るわ

リン

ボクがエルムにいる時にエディさんはマサミさんに毎日でも逢いた
いけれど我慢しているとメールをしてきていたよ

それなのに雛祭りがどうのとマサミさんがオネエぶったメールを返
しているのだからね

神様の役に立ちたい

神様に恋人が自分に必要なら現わしてほしいと自分から祈っている
のに

祈っているその瞬間にメールが来たというのは紛れも無い神のコタ

エではないのだろうか

それをマサミさんは一步を踏み出す勇気のなさで臆しカッコを付け
たいというプライドで蔑ろにしたんだよ

応えると云うのは条件付きなのだろうか

応えると云うのに体裁ぶりがいるのだろうか

応えると云うのに間を外すのが必要なのだろうか

マサミさんは自分の立場境遇から感じ想い考える
相手の瞬瞬刻刻と一日と一年と一生涯と

輪廻転生の遠い過去から遙かな未来まで

それをどこまでも何処までも思案して心配して

その方の為に何が自分に出来るだろう

どうすることが正しいのだろう

神は何をお望みなのだろうと

未熟ながらもそうは考えられないものだろうか

止まっていたエディの性の衝動はマサミさんによって目覚め甦った

その女性を求める彼の肉体と心の衝動の烈しさが

マサミさんにはわからないのだろうか レイ

マサミさん

今日からボクは和室に一人で寝ることにする

キミが365日家族と同じ屋根の下にしながら

独りの部屋で寝ているエディの気持ちや少しでも知る為に

レイ

昨晚ボクがしばらく和室で寝ることになるとキミに話した時

キミはなんでそんな事するのと目を剥いてボクに言ったね

それは何故ボクがそうするかを考えもせず

ボクを不信に思いその不満と恨みを突きつける言葉だった

キミは恋人の彼ばかりではなくボクさえも未だに自分の自由になる

モノにして置きたいのだね

マサミさんにとってボクの言うことなどはそも信じる価値もなく

ただボクを思う俥にしたいだけなのだね

愛しているなどと言うのは言葉だけ

真実とは程遠い世界

信じる者は永遠を与えられ信じぬ者はすべてを失う

只それだけ

レイ

あなたの言う通りです

わたしの心はあなたの言葉に反感をもち態度にでていました
わたしにとってあなたの存在はエディさんとはまた違う意味で必要
な存在なのです

あなたのわたしを想う気持ちを考えずあなたを無視してその言葉に
不満を抱いてしまいました・・

あなたへの愛も信じることもわたしの自分よがりであなたには応え
られてはいませんでした・・・

わたしはあなたが望むようになりたい

そのことに変わりはありません

あなたの望むわたしとなりエディさんを愛してさし上げたい
それがわたしの望みです

素直に心を開きますに マサミ

ボクもエディさんもキミの必要で動くモノ的存在ではない

キミは人を自分の自由になる物扱いをしていることに気がついてい
ないね レイ

少し考えさせてください

わたしがなぜ人を物扱いしてしまうのか考えてみます マサミ

レイ

家族の中にも独りぼっちの辛さ

孤独は本当に痛ましい耐え難い苦痛

今夜はあなたの傍にイルワ

レイ

リアから恋の相談があるかも知れません

二年付合った彼とも別れられず大学生さんと会ってお付合いを申し
込まれて

どちらにも決められないと言っていました

あなたに相談しなさいと話しました リン

リンさん

今日も一日お疲れ様でした

エディへのメールをハルキさんに見ていただいたの
相手の気持ちに伝えていないって・・・

わたしは考えすぎてしまうのかな

わたしは知らず知らずの内に気分の中に入ってしまうの
前にリンさんが求めることと応えることは違うって教えてくれたけど
わかっていないみたい・・・

エディに伝えたいのに

相手の心に合わせるって応えている感じって自分にはどんなふうに
映るのかな

エディのメールをまた読み返してみます マサミ

マサミさん

応えるということ

考えてみてあなたなりに何かわかりましたか

例えば電話がかかってきたのに少しお待ち下さいと保留にされて待
たされたら

どんな気持ちになるの・・・

必要なときに応じて差し上げることが大切なのではないのかしら
人は何気ないフルマイに傷つくものなのよ リン

ハルキさんにも教えていただいていたの

救命救急の話しを例えにして

今この瞬間に何が必要で大切か

わたしの場合は人の想いを感じとることからでしょうか・・・

夜はエディの気持ちよりも自分の気持ちの方が心を占めていた
でもエディに伝えることのために必要ならばなんでもしたいけれど

それはハルキさんから心が離れる感じがするの

マサミ

おはようマサミさん

アイは無償

アイは純粹

自分の思いを相手に押しつけるのではないのです

見返りを求めるのならそれはアイではなく只の傲慢なのです

リン

リンさんの言葉を噛み締めます

マサミ

マサミさん

噛み締めて飲み込んであなたの体と心に染みこませてくださいね

わたしの言葉はあなたの滋養になります

それはやがてあなたのものに

リン

リンさんのようになればきっとエディは幸せになれる

噛み締めます

マサミ

マサミさん

ヨコハマは青空に白い雲がたくさん遊んでいます

エディが空ならあなたは何かしら

リン

私は雲になりたい

空にいろんな物語を描くの

お陽様はレイとリンさんかな

マサミ

マサミさん

あなたは空に抱かれる白い雲

お陽様に照らされて輝いて行く

リン

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9510c/>

トリプルスズ エピソード 4

2010年11月28日00時43分発行